

入学試験問題集

＜令和7（2025）年度＞



公立大学法人

名桜大学
MEIO UNIVERSITY

令和 7(2025)年度入学者選抜 個別試験問題集 目次

選抜区分		学部学科	個別試験科目	ページ
総合型選抜		国際学部 国際文化学科 国際観光産業学科	小論文（学科共通）	1
		人間健康学部 スポーツ健康学科	小論文	5
		人間健康学部 健康情報学科	小論文	9
学校推薦型選抜		国際学部 国際文化学科 国際観光産業学科	小論文（学科共通）	17
		人間健康学部 スポーツ健康学科	小論文	21
		人間健康学部 看護学科	総合問題（学校推薦型選抜・社会人特別選抜）	23
		人間健康学部 健康情報学科	小論文 （学校推薦型選抜・外国人留学生特別選抜）	29
		特別選抜 ・社会人 ・帰国生徒 ・外国人留学生		国際学部 国際文化学科 国際観光産業学科
	外国人留学生特別選抜 事前提出型小論文（学科共通）			37
人間健康学部 看護学科	総合問題（学校推薦型選抜・社会人特別選抜）			23
人間健康学部 健康情報学科	小論文 （学校推薦型選抜・外国人留学生特別選抜）			29
一般選抜	前期 日程			国際学部 国際文化学科 国際観光産業学科
			英語（学科共通）	45
		人間健康学部 看護学科	小論文	59
		人間健康学部 健康情報学科	小論文	63
	後期 日程	国際学部 国際文化学科 国際観光産業学科	小論文（学科共通）	71
		各試験問題「出題の意図」「模範解答」		

この入学試験問題集には、令和 7(2025)年度「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」、「特別選抜（社会人・帰国生徒・外国人留学生）」、「一般選抜」で出題した試験問題を収録しています。
出願者、受験者が無く実施していない入学者選抜の試験問題は収録していません。
著作物は、すべて著作者もしくは出版社の許諾を得て転載しています。

令和 7 年度

名桜大学 国際学部
国際文化学科・国際観光産業学科

総合型選抜

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入すること。
4. 解答は、解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
5. 解答欄は、解答用紙の表と裏にあるので注意すること。
6. 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
7. 試験終了後、解答用紙のみ回収する。問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

【設問】 次の文章を読み、高校と大学の学びの違いと大学の学びについてあなたの考えを書きなさい。

答案を作成する際には次の指示に従うこと。

- 複数の段落で文章を構成すること。
- 題目、見出しは書かないこと。
- 700 字以上 800 字以内で書くこと。
- 一般的な原稿用紙の使い方に則って、横書きで書くこと。

(前略)

新入生は大変だった受験勉強を終え、自分の好きな研究や勉強に取り組めるようになります。ただ、これまで「受験科目でなければ勉強しなくてもいいや」「本なんか読まなくてもいいや」と思ったかもしれませんが、そうした姿勢では大学での学びを深めることはできないでしょう。

これからは一人前の大人として、あるいは良き社会人として生きていく上で、本当に必要な資質を大学で磨いてほしいと思います。大事なことは、良き問いを立て、答えを求めて自ら学ぶという姿勢です。すぐに答えは見つからないかもしれませんが、簡単に諦めてはいけないのです。

君たちは小学校のころから、先生が何か問題を出すと、先生が求めている正解は何かをいち早く察知して答えることを繰り返してきたのでしょう。要するに付度(そんたく)力です。ある意味で、求められている答えを付度する力を高めることが受験競争に打ち勝つ手段でもあったのです。

ところが社会に出れば正解がある問題ばかりとは限りません。たとえば世界には紛争、日本では政治など様々な問題に直面しています。世界はどうあるべきか、日本はどうあるべきか、そして私はどうあるべきなのかという問いを立ててみる。その力が求められてくると思います。

よく、新入生から「専攻科目は社会に出て役に立ちますか」と質問を受けます。そんなときは「学部で学び、教員や仲間と議論し、考え抜いた経験が考える力を鍛えてくれます。それが社会に出てから生きてくるでしょう」と答えます。それこそが大学生活の価値なのだと思います。

学生たちにすれば違う見方ができるかもしれません。たとえば代表的な生成 AI (人工知能)「Chat (チャット) GPT」のように、様々な情報を調べて瞬時に答えを出してくれる技術がどんどん進化しています。良き答えを出そうとすれば AI には負けてしまうかもしれません。

そして、最近は外国語を学ぶ際に、瞬時に翻訳できる最新ソフトが使えるようになりました。あるいは日常会話でも、旅先で瞬時に会話を翻訳してもらうこともできます。こんな時代を迎えると「なぜ改めて語学を勉強する必要があるのか」と思っている新入生もいるかもしれません。

でも、自分の未来や幸福のために良き問いを立てるということは人間にしかできないことだと思います。民族・国家・伝統・文化を知るためには、まずそれぞれの国の言語を学ぶことが必要になるということです。技術とはあくまでも、情報を集め、考えるための道具に過ぎないのです。

つまり、動画教材を倍速スピードで視聴したり、AI に答えを見つけ出してもらったりすれば効率よく学んだ気分になるかもしれません。考える力を鍛える上でどれだけ効果があるか疑問です。「知っているという学び」と「考え抜いて習得した学び」とは全く異なると思います。

将来、働き始めるとき、AI に使われる側になるのか、それとも AI を使いこなす側に回るのかといった問題にもかかわるでしょう。考える力とは生きる力に通じるかもしれません。学生生活を大事に過ごしてほしいと思います。

出典 『日本経済新聞』2024 年 5 月 15 日(水) 朝刊・35 面「池上彰の大岡山通信 若者たちへ(357) 新入生諸君へ 良い問いを立て、考えよう」を一部省略した。

令和 7 年度

名桜大学
人間健康学部 スポーツ健康学科

総合型選抜

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配布するので取り違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏及び余白を下書きに使用しても良い。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

次の文章を読み、設問に答えなさい。

世界が国際紛争で揺れる中、パリ五輪が幕を開けた。国連総会決議に基づく「五輪休戦」期間中でもロシアによるウクライナ侵攻、パレスチナ自治区ガザでの戦火はやまない。スポーツを通じた平和の推進を理念に掲げる五輪は、分断された国際社会で「架け橋」となれるのか。その価値を問い直す舞台となる。

◇大国への配慮

国際オリンピック委員会（IOC）は、ロシアと同盟国ベラルーシの選手について、国を代表しない「個人の中立選手（AIN）」として参加を容認した。バッハ会長はスポーツと政治の分離を訴え、「政府の行為により罰しない責任がある。パスポートを理由に参加が妨げられてはならない」と主張した。

団体競技の参加は認めず、軍に所属したり、侵攻を積極的に支持したりする選手を独自の審査で除外した。ロシアは差別的だと批判し、ウクライナはロシアがプロパガンダの道具に利用すると非難。IOCは双方の反発を招いたが、これが「妥協点」だった。

スポーツ界で大きな影響力を持つロシアを完全に締め出せば、世界最高峰の舞台としての魅力や価値は薄れ、信頼が揺らぐ懸念がある。関係者によるとバッハ会長は、ある国際競技団体が AIN の出場可否を議論する会合にも出席。大国への配慮をちらつかせ、扉を閉ざさなかった。

◇五輪と政治

ロシアは柔道やレスリングで参加を拒否。全体の選手数は 15 人にとどまり、2021 年東京五輪の 335 人から大幅に減った。パリ後には五輪に対抗して独自の総合大会開催を計画している。

五輪は政治と切り離せない。1936 年ベルリン大会はナチス・ドイツが国威発揚と宣伝に利用。東西冷戦下の 80 年代はボイコットの応酬に見舞われた。フェンシング団体で五輪金メダリストのバッハ会長も、80 年モスクワ大会に参加できなかった当事者だ。

パリ五輪でウクライナ代表選手団のスローガンは「勝利への意志」。同国オリンピック委員会によると、ロシアの侵攻により選手、コーチは計 500 人近くが命を落とし、500 を超えるスポーツ施設が破壊された。

ウクライナ選手は世界の視線を祖国に向ける使命を胸に抱く。陸上女子走り高跳びで 7 月に世界記録を樹立したヤロスラワ・マフチフ選手（22）は「五輪はスポーツであると同時に政治でもある。まだ戦争が終わっておらず、私たちが戦い続けることを示したい」と参加の意義を強調する。

◇二重基準

IOC はガザ地区で攻撃を続けるイスラエルは、条件を付けずに参加を容認した。パレスチナ五輪委によると、ガザ地区で昨年 10 月以降、選手らスポーツ関係者約 400 人が死亡。ロシアと異なる対応に「二重基準だ」と批判の声が上がる。IOC は、ロシア五輪委はウクライナのスポーツ組織を一方的に編入するなど状況が異なると言い張る。

近代五輪の創始者、クーベルタン男爵が生まれた地に 100 年ぶりに戻る祭典。バッハ会長は「世界の団結と平和の象徴」と表現する。紛争を止めることはできなくても、戦争や平和について考える契機となる。主役である選手が互いを尊重し、ひたむきに競技する姿は人々の心に響き、大きなうねりを生む力を秘めている。

出典：「国際紛争で揺れる五輪 問われる『平和の祭典』の力—分断社会の『架け橋』に」
時事通信社提供

2024 年 7 月 27 日．https://www.jiji.com/jc/article?k=2024072700119&g=cyr#goog_rewarded

問題 五輪の世界平和への貢献について、論じなさい。(1000 字以内)

令和7年度

名桜大学

人間健康学部 健康情報学科

総合型選抜問題

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は90分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので取り違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏及び余白を下書きに使用してよい。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

以下の文章を読み、次の【問題1】から【問題4】に答えなさい。

科学的思考が身につけば、自分の身を守ることができる

2020年の世界も、新型コロナウイルスが恐怖に陥れました。みなさん困っていると思いますが、専門家も困っています。専門家にもわからないのです。その上昔と違って、人の往来が多くなり、国境をまたぐようになったので、今回のようにあっという間にウイルスも世界に広がります。「病気のことは専門家に」と思っていると、誰もがわからないので自分が死ぬ可能性も出てきます。

また、専門家がすべてを知っていることもありません。専門家は自分の専門領域には詳しいのですが、逆にそこしか見ていない場合がほとんどです。みなさん、新型コロナウイルスの危機で肌感覚でわかったのではないかと思います。ウイルスの専門家はウイルスについて、経済の専門家は経済について情報発信しますから、それぞれ全体を見て言っているわけではありません。結局、不確かな状況のときは、自分で考えるしかないわけです。そんなとき、「科学的思考」を身につけていると、大変役に立つと思います。

さて、そもそも科学とは一言でいうと何でしょうか。

私はしばしば大学の最初の授業で学生たちに科学とは何か、と問いかけます。学生たちから出てくるのは、こんな答えです。

- ・何が正しいかをはっきりさせる。
- ・真理を明らかにする。

これらは間違っていないかもしれませんが、完全に正解とは言えません。なぜなら、科学には大きな前提があるからです。「真理や正しさをどこまで追究したところで、本当にそれが正しいかどうかはわからない」という前提です。「え？」と思われた方もいるのではないのでしょうか。

たとえば、有名な万有引力の法則。これは、むちゃくちゃ簡単に言うと「すべてのものに引力が働いている」という法則ですが、これも、「どうやら確からしい」法則であって、100%絶対に正しいとは言えません。教科書では真理のように出てきますが、正確にいうと「真理っぽい仮説」です。科学の発見は、すべてこうです。

胸を張って「これが真実だ」と言い切れるのは神様だけです。真理は神様にしかわからない領域です。何が正しいのか、何が真理かは、人間である限り最終的には証明できません。そうすると、「科学って何の意味があるの？」という声が聞こえてきそうですが、安心してください。真理に到達できなくても、真理に限りなく近づくことは可能です。それこそが科学の使命です。

つまり、科学は何かというと、仮説（理論）をどんどんよいものにして、真実に近づける営みです。研究者は、日々、よりよい仮説をつくらうとしています。そのためには何をやっているのか。それは、仮説の検証です。仮説を出し、検証して潰し、また新しい仮説をつくらって検証するというのが科学です。

ちなみに、100%の真実には到達できませんが「真実に近づいたな」と気づくことはできます。なぜかという、真実に近いと、その仮説からほかのいろいろなことを説明したり、予想できたりできるからです。これができるものが、とてもいい、真実に近い仮説です。科学が役に立つ、研究が役に立つというのはここから導き出されます。

真理に近いよい仮説とは、そこから多くの予想を導き出せるといいました。より多くのことも説明できます。よい仮説とは、たくさん応用がきく考え方ともいえます。

それでは、科学者は実際どのように仮説を立てるのでしょうか。実際の歴史上の出来事で見参みましょう。

19世紀、まだ細菌がいるなんて誰も知らなかった時代の話です。当時英国では、周期的にコレラが大流行して、人々を恐怖させていました。今でこそ、コレラはコレラ菌によって引き起こされることがわかっていますが、当時は空気を伝わる悪臭（瘴氣^{しょうき}）が原因だと考えられていました。そうした中、19世紀期中頃にジョン・スノウという医学者が悪臭説に疑いをもちます。同じ部屋で同じ空気を吸ったのに、コレラにかかる人とそうでない人がいたことがあったからです。

スノウは、ある背中合わせの建物で、片方がもう片方の10倍もの犠牲者を生んでいる状況に疑問をもちます。このふたつの建物は構造や衛生習慣などもほぼ同じ条件でしたが、唯一違う条件がありました。飲料水の水源です。スノウは、もしかすると飲料水によってコレラが広がっているのかもしれないと疑問を抱きます。スノウはその後、ロンドン市の統計を使って調査を続け、使用していた水道会社（つまり、どこが水源か）によって、コレラにかかった人の数が大きく違っていたことを突きとめます。

そこで、「コレラは悪臭ではなく、汚染された水を飲むことでコレラが広がっているのでは」と仮説を立てるに至りました。スノウはこの調査結果を論文にまとめますが、じつは評価は芳しくありませんでした。「その地区に悪臭が満ちているのでは」などと反論されてしまいます。水源が原因とは言えないと指摘されたのです。

納得がいかないスノウは、その後もこの仮説をあたため続けます。そして、その後ロンドンの一地区でコレラ患者が大量発生したことが、仮説の確からしさを示すことになります。スノウは統計を使って住民への聞き込み調査を進めた結果、亡くなった人が一つの井戸の周囲に集中していることを発見します。

ただ、それだけなら前回と同じく、井戸周辺にだけ悪臭が広まったからかもしれないと反論されてしまいます。そこで、井戸から離れているのに亡くなった人を調べました。そうすると、井戸の近くに通学していた子どもや、井戸近くの飲食店のお客さんがいました。

一方、井戸近くのビール工場の従業員には重症化した人はいませんでした。彼らは喉がかわいても、井戸の水を飲まずにビールを飲んでいたのでした。これらは、悪臭が原因ならば説明できない現象です。スノウが仮説から導き出した予想も検証されたことで、スノウの仮説がより強固になったわけです。スノウは、当局を説得してこの井戸のポンプのハンドルを外し使用できなくしました。これが功を奏したのかすでに流行は収束し始めていたのかは不明ですが、その後感染は収まっていきました。

仮説を立てて、予想を出す。そして、それを実験や観察などで検証する。当たっていれば、仮説の確からしが増す。これが科学の手法のひとつです。

細菌という目に見えない物を確かめる手段がないときに、スノウはこうした仮説を思いついたわけです。細菌を知らないのに細菌の仮説をつくれる。これが科学の醍醐味ですね。

その後、飲料水の衛生が確保されるようになってコレラの大流行が減り、ついにはコレラの原因が飲料水にも混入し得る細菌であることが明らかになります。これらはスノウの仮説から導かれる予想で、スノウの仮説は真実に近い優れた仮説だったことが確かめられたのです。ちなみに、コレラ菌がコッホによって発見されるのは、スノウの調査から30年後の1884年でした。

まず疑問に思う、常識を疑う

日常生活で「あれっ」と思うことは、あなたはどのくらいありますか？

研究者は常に疑います。うのみにしません。本当かなと思って物事を眺めています。私もさすがに、日常生活で電球ひとつにいちいち突っ込みませんが、私からすると、みなさんはあまりにも疑っていません。もっと疑問を抱いてください。

すべてを疑いだしたらきりがないのは事実ですが、まず身近なところから疑ってみましょう。すると、日常生活で「あれっ」と思うことは、意外に多いはずです。そうなれば、日常が推理小説のように謎に満ちるはずです。

推理小説は、人間が考えた謎解きです。一方、生命科学は自然が相手です。思いもよらぬトリックや誰も想像しなかった犯人が現れることも日常茶飯事です。そして、その謎がわかることで、不治とされていた病が治ることもあります。

科学者は、年がら年中犯人捜しを楽しんでいるようなものです。この科学の楽しさを、みなさんと共有できれば、とても嬉しくもあります。

では、ここから、疑問に思ったあとどう考えていくか、具体的な科学的な考え方を身につけていきましょう。

覚えておくと便利な考え方があります。それは、「相関」と「因果」です。相関関係と因果関係というこのふたつの言葉は、科学の基本です。

相関というのは、目に見える関係です。研究の観察結果でもあります。たとえば、さきほどの例だと、「暗い部屋に入ってスイッチを押したら電気がつく」のは相関関係です。そして、この情報だけだとスイッチを押すことで電気がついたとはいえないと先ほど言いました。つまり、相関関係とは「原因と結果ではないかもしれない」関係です。

因果関係とは、確実な「原因と結果の関係」です。相関関係には因果関係が含まれていることはありますが、相関＝因果ではありません。でも人は相関関係を因果関係だと思い込みがちです。因果関係があることを示すには、観察だけではなく実験や検証が必要なことが多いです。さきほどのスイッチの問題だと、因果関係だというには「壁をはがして電灯とスイッチがつながっていることを確認し、線を切断したら点灯しないことを示す」必要があります。

生命科学の場合はどうやって因果関係を示すのかを少し述べてみます。

私の研究室に参加を希望する学生さんへの試験の話为例にします。その試験では、相関関係と因果関係の考え方ができるかどうかを重視します。

たとえば、「遺伝子Aをなくしてしまったマウスをつくったとします（遺伝子操作技術で本当につくれます）。そうすると、なぜか別の遺伝子Bが消えて、その後そのマウスは死んでしまいました。その場合、遺伝子Bがなくなることとマウスが死ぬことは因果関係か？」というようなテストです。

あなたはどのように考えますか？この問題では、遺伝子の知識は不要です。本質はスイッチ問題と一緒です。

答えは、遺伝子Bがなくなったらマウスが死ぬということは(ア)関係であって、(イ)関係——つまり、遺伝子Bがないと死ぬのかはわかりません。

では、どうすれば(ウ)関係なのかどうかかわかるのでしょうか？

種明かし

この相関関係と因果関係の違いは、日常生活や、ニュースなどで「ん？」と思うことを考えるクセをつけると、自然に身につけられます。

たとえば煙草を吸う人に肺がんが多い、というのは相関関係です。煙草の中の成分が肺の細胞の遺伝子を変異させ、がん化させるということを実験的に示さない因果関係はわかりません。ただ、人間で実験はできないので、人間に近い動物や人間の細胞などで実験するしかありません。

遺伝子操作ができるようになったことで、因果関係をはっきり示すことができるようになったことは事実です。

もうひとつ、科学的思考に必須のことがあります。それは「比べる」姿勢です。

たとえば、ある未知の病気があったとします。患者100人がある薬を飲み、そのうち80人が2日で回復したと聞いたら、どう思われますか。いい薬だと思いますか。

「よかった、よかった。これでもう薬は完成した」と思うかもしれませんが、じつは、これだけではよいか、悪いか判断はつきません。

科学的に何かを調べるには、まず「比べる」ことだと覚えておきましょう。この場合だと、いったい何を比べたらいいのでしょうか？それは、「薬を飲むグループ」と「飲まないグループ」です。つまり、薬の効果を測定するのに100人に投薬するならば、投薬しない100人のグループを別につくらなければなりません。なぜかという、2日で治った80人は、投薬しなくても治ったかもしれないからです。

このように比較することを対照群を取るといいます。そして、対照群がないものは「エセ科学」とみなされても仕方ありません。

たとえば、ある広告で、肩こりが治る枕や腰痛が治る布団などがあったとします。確かにグラフなども示されていて、1000人で実験したところ90%の人が改善したなどと書かれています。そのとき、対照群があるかをチェックしてください。もしなければ、怪しいです。それは、さきほども言った通り、仮にこの枕や布団を使わない人が1000人いて、その90%の人が改善したら、その商品を利用してなくても治ることになります。この枕や布団が有効だとは言えません。

間違いが科学を進める

科学論文には、故意でない間違いもあります。むしろ、論文が出てからが、その仮説の新たな出発点であることはすでに述べました。「こうした仮説があるのか」と他の研究者が知り、そこから検証を始めます。その論文を疑えば、同じ実験をします。これは「追試」と呼ばれていますが、追試することでデータが正しいかを調べるわけです。

追試だけではなく、別の実験で同じ結論になるかなども検討します。あるいは「仮説が正しいければこのような結果も出るはず」、（つまり前に書いた予想です）とそれを試す人も出てきます。誰かの仮説に、さらに積み重ねていくのです。もちろん自分の仮説に対しても同じです。科学はこうやって、後に続く研究が進歩させていきます。

追試で間違いがわかった場合は論争になりますが、ねつ造や改ざんでない限り、業界や所属機関を追われるようなことはありません。誰もその研究者を責めたりもしません。一生懸命に実験したものの間違っていて、そのまま掲載されることはいくらでもあります。

コロナ禍では、多くの研究者がいろいろな仮説を唱え、世間を賑わしましたよね。三密を避けろという人もいれば、ソーシャルディスタンスをとる必要はないという人、東京は2週間後にニューヨークのように感染者が数十万人になると叫んでいた人もいました。明らかに分が悪い仮説もあります。ただ、もし間違っていたとしても研究者ならば彼らを責めることはしません。なぜなら、仮説を検証していくことが科学だからです。

それなのに世間では「あの人は間違えていた」「嘘をついた」と攻撃する人がいたり、反対に盲目的にその人の説を信じたりする人がいます。どちらも間違っています。

科学的思考の話は、このあたりでおしまいです。これで、科学者の基礎素養はバッチリです。ここで説明した、科学とは何か、そして科学的に考えることが身についていれば、これからの情報の見方も変わるはずです。科学は真実かどうかを判別する便利な装置ではなく、真実に近づくための仮説をつくる営みです。そしてそのためには理屈で考えることが何よりも重要です。

また、未知のウイルスが現れたり、何かあなたをだまそうとしたりすることが起こっても、科学の営みを知り、研究者の世界を覗いたことでこれまでよりも情報の取捨がしやすくなったはずです。すべては仮説であり、検証がどのくらいあるのかを見ましょう。一部の相関関係だけではなく、因果関係を見すえるのです。

科学とはみなさんの社会に対する姿勢がどうあるかを問うものとも言えるでしょう。

出典：LIFE SCIENCE（ライフサイエンス） 長生きせざるをえない時代の生命科学講義（吉森 保 著）、一部改変

【問題1】上の文章を読み、(ア)、(イ)、(ウ)に入る言葉を推測しなさい。

(ア)

(イ)

(ウ)

【問題2】文中の「種明かし」には、以下の文章(a)～(d)が入る。論理構成が理解できるように、以下の文章を(1)～(4)の順で並び替え解答しなさい。

(a) もし死ななかったらどういう結論になるでしょうか？

(b) そのためには、遺伝子Bをなくしたネズミをつくればよいのです。

(c) その場合、遺伝子Aがなくなると遺伝子Bがなくなるだけではなく、別の何かが起こりマウスが死ぬ、と考えられます。

(d) それで死ねば、遺伝子Bは生存に必須だと結論できます。

【問題3】科学における「仮説」は、どのように設定され、検証されるべきものですか？文章で挙げられている具体例を交えながら、300字以内で説明しなさい。

【問題4】文章では、「科学的思考」の重要性が繰り返し述べられています。現代社会において、科学的思考はなぜ重要なのでしょうか？具体的な例を挙げながら、あなたの考えを600字以内で論じなさい。

令和 7 年度

名桜大学 国際学部
国際文化学科・国際観光産業学科

学校推薦型選抜

小 論 文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入すること。
4. 解答は、解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
5. 解答欄は、解答用紙の表と裏にあるので注意すること。
6. 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
7. 試験終了後、解答用紙のみ回収する。問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

【設問】 以下の文章を読み、生成 AI と共生する時代における大学での学びのあり方についてあなたの考えを述べなさい。

答案を作成する際には次の指示に従うこと。

- 複数の段落で文章を構成すること。
- 題目、見出しは書かないこと。
- 700 字以上 800 字以内で書くこと。
- 一般的な原稿用紙の使い方に則って、横書きで書くこと。

テクノロジーの進化に伴う変化の必要性は、インターネットが登場して以降も常に議論をされてきたテーマです。しかし、ここ数年の人工知能、とくに 2022 年 11 月に OpenAI がリリースした ChatGPT に代表される「生成 AI」を震源とした地殻変動は、これまでの変化とはその質もインパクトも異なっていると言えます。これまでの IT 技術の発展は、情報収集・コミュニケーション・作業プロセスなど多くの側面で私たちに多大なメリットをもたらしましたが、本質的には私たちの祖先が時間をかけて行ってきた作業を「効率化する」という変化が中心だったと言えるでしょう（ex：手紙から電話、メールへ。手書きのメモ作業から、音声認識でテキストへ。書籍で情報収集から、ネットで検索へ）。

ChatGPT に代表される生成 AI では、「考える」という人間が持つ重要な営みの一部をコンピュータが代替しつつあると考えられます。例えば、メールマガジンのタイトルのアイデア出し、顧客へのメール文書の素案作成、ビジネスプランのアイデア出しなど、これまで数時間、内容によっては数週間かけて行ってきた業務をほんの数秒で完了させてくれます。

（中略）

このように、日常業務や担当プロジェクトにおいて、生成 AI と深くかかわる中で、いくつかの気づきがありました。1 つ目の気づきは「生成 AI に入力する“問い”の質によって、引き出される回答に大きな違いがある」ということです。例えば、「xx プロジェクトを成功させるためのアイデアとは何か？」という、抽象的な問いを入力した場合、その回答は「可もなく不可もない」一般的な内容が出力されることになります。一方で、「X というミッションを実現し、目標数値 Y を達成するために、最初に考えるべきテーマは何か？」という具合に、詳細な問いを設定することで、より踏み込んだ回答を引き出すことが可能となります。これらのテクニックは、「プロンプト・エンジニアリング」といった言葉で表現されることもあります。私が興味を持ったのはその手法論ではなく、そもそもの「良い問いとは何か？」ということでした。

先ほどの例で考えると「X というミッション」や「目標数値 Y」という部分は、何によってつくられるのでしょうか？それは、人間が生み出す“意思”であり、それが含まれている問いこそが良い問いなのではないかという仮説を持ちました。さらに、その意思は結局、本人が持つ価値観や哲学、「自分らしさ」がベースとなって生み出されるものであると考えるに至りました。もっと踏み込んで言えば、良い問いを投げかけて、良い答えを引き出し、さらに問いを重ねていくというプロセスは、AI の活用だけではなく普段の実生活でも、そのま

ま求められる能力であると思います。

2 つ目の気づきは、「良い問いを入力し、良い選択肢が提示されたとしても、最終的にそれをどのように判断するかは人である」ということです。生成 AI は過去に蓄積された大量のテキスト情報からもっともらしい回答を生成するのであって、言い換えれば可能性の高い選択肢を提示しているにすぎません。だからこそ、あくまで決定する主体は私たちにあり、決定したことにより生じた結果に責任を負う必要があります。では、私たちは生成 AI が生み出す選択肢に対して、どのように決断すればよいのでしょうか？この疑問に対する私なりの仮説は、本編で触れたいと思いますが、1 つ目の問いの設定力と同様、「決める力」は普段の私たちの生活においてもますます重要になる能力だと思います。

出典：鳥潟幸志（2024）『AI が答えを出せない 問いの設定力』株式会社クロスメディア・パブリッシング pp.3-6

なお、出題に際して、表記を改めた部分がある。

令和 7 年度

名桜大学

人間健康学部 スポーツ健康学科

学校推薦型選抜

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配布するので取り違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏及び余白を下書きに使用しても良い。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

次の文章を読み、設問に答えなさい。

ブリヂストンは1日、国際オリンピック委員会（IOC）と結んでいる最高位スポンサー*1の契約を年内で終えると発表した。トヨタ自動車とパナソニックホールディングス（HD）も年内終了を発表しており、契約している日本企業3社がすべて撤退する。

ブリヂストンは2014年、IOCと最高位スポンサー契約を結んだが24年12月末をもって更新しないと決めた。今後は「持続可能なグローバルモータースポーツ活動に注力する」としている。

最高位スポンサーは1業種1社に限定されており、米コカ・コーラなど世界の大手企業が名を連ねる。五輪の競技会場内で広告看板の形では企業名やブランド名を掲示できないが、世界中の広告活動で五輪のロゴを使うことができる。

ブリヂストンは大会中にタイヤを選手移動などに使う車両に納めてきた。契約額は非公表だが、費用に見合った効果が得られなかったもようだ。

パナソニックHDは社名が松下電器産業だった1987年に五輪の最高位スポンサーとなり、37年間契約を続けた。放送用カメラや大型プロジェクターを納めてきた。

パナソニックHDは24年に業務用の大型プロジェクター事業をオリックスに売却することを発表し、かつて主力製品だったテレビが事業全体に占める割合も低下している。9月にスポンサー撤退を決めたのも事業内容と五輪との相乗効果を考慮したものともみられる。トヨタ自動車も24年末をもって最高位スポンサー契約を終了する。

海外企業でも米マクドナルドが16年のリオ五輪を最後に最高位スポンサー契約を終了している。

*1 TEAM JAPAN パートナシッププログラムでは、Tier 1、Tier 2、Tier 3の3つの階層に分かれており、Tier 1はゴールドパートナーと呼ばれ、国内の最高位スポンサーに該当する。

出典：ブリヂストン五輪撤退：最高位スポンサー、日本企業ゼロに『日本経済新聞』2024年10月2日。

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO83822450R01C24A0TB1000/>

問題 スポンサーの撤退理由について推察し、あなたが考える五輪の変革案を述べなさい。(1000字以内)

令和 7 年度

名桜大学
人間健康学部 看護学科

学校推薦型選抜(地域枠推薦 A・B)
社会人特別選抜

総合問題

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 120 分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配布するので取り違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏や余白を下書きに使用してもよい。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること

I 次の文章について設問に答えなさい。

加齢に伴い増加する認知症は脳の a きのうていかが原因となって起こる。脳は情報伝達の中枢であり、b きおくや判断、さらには感情などを司る重要な c きかんである。

脳は大腦、小脳、間脳、脳幹からなり、脳幹は脊髄に続く部位で、下から延髄、橋、中脳からなっている。人の神経系は脳と脊髄によって構成される(①)と全身に走行している抹消神経系に大別される。末梢神経系は(②)や副交感神経からなる(③)、運動神経と感覚神経からなる(④)からなる。神経系の最小単位である神経細胞(ニューロン)は(⑤)やミトコンドリアなどの存在する細胞体と神経線維である(⑥)からなり、細胞体からは多数の(⑦)が出ている。

認知症は老化に伴い主に神経細胞(ニューロン)の変性や d いしゅくによるアルツハイマー病、脳血管の e しょうがいで起こる脳血管性認知症などに伴う症状である。

設問 1 下線の a～e を漢字に直しなさい。(5×5 点＝25 点)

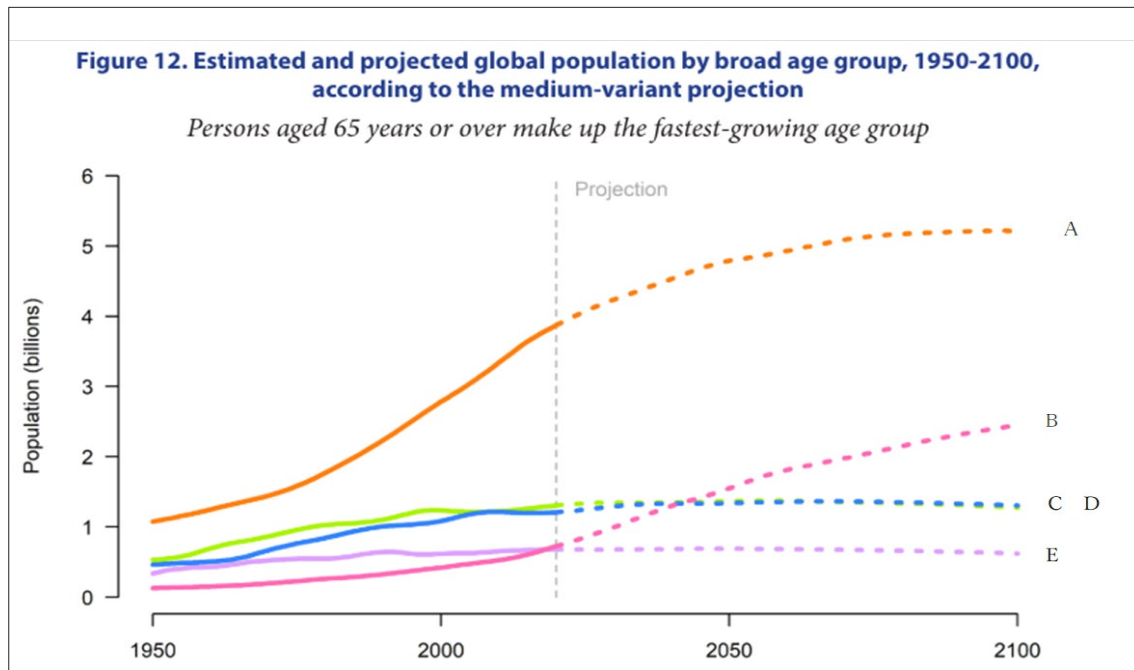
設問 2 文中の①～⑦に入る語句を下記の語群より選びなさい。(7×5 点＝35 点)

ア. 体性神経系 イ. 延髄 ウ. 樹状突起 エ. 中枢神経系 オ. 中脳 カ. 核
キ. 神経伝達物質 ク. 自律神経系 ケ. 軸索 コ. 橋 サ. 細胞体 シ. 交感神経

II 次の文章および Figure12 は World Population Prospects 2019 Highlights の一部を抜粋し、部分的に日本語に訳したものである。文章および Figure12 を見て設問に答えなさい。

① In 2018, for the first time in human history, persons aged 65 years or over outnumbered children under five years of age worldwide. Between 2019 and 2050, the number of persons aged 65 or over globally is projected to more than double, while the number of children under five is projected to remain relatively unchanged. Consequently, the projections indicate that in 2050 there will be more than twice as many older persons as children under five. Moreover, it is expected that in 2050 the ② 1.5 billion people aged 65 years or over worldwide will outnumber adolescents and youth aged 15 to 24 years (1.3 billion). ③ Whereas the overall numbers of males and females globally are about equal, women outnumber men at older ages owing to their longer average life expectancy. In 2019, women comprise 55 per cent of those aged 65 years or over and 61 per cent of those aged 80 years or over globally.

2019 年で人口 9 万人以上の 201 の全ての国や地域で、2019 年から 2050 年の間に 65 歳以上の高齢者の割合は増加することが予測されている。2019 年の世界④ レベルでは、約 9% が 65 歳以上である。世界の高齢者の割合は、2030 年にはほぼ 12%、2050 年には 16% に達し、2100 年にはほぼ 23% に達する可能性が予測されている。



出典：World Population Prospects 2019 Highlights より引用。図は一部改変した（2024.11月19日）

URL: https://population.un.org/wpp/publications/files/wpp2019_highlights.pdf

設問 1 下線①の文章を日本語にきなさい。（20 点）

設問 2 下線②を日本語にきなさい。（5 点）

設問 3 下線③の内容について正しいものを 2 つ選びなさい。（2×10 点＝20 点）

- (1) 2019 年、世界全体の 65 歳以上では男性が 55%を占める。
- (2) 2019 年、世界全体の 80 歳以上では男性が 61%を占める。
- (3) 世界の男女の全体数は女性が多い。
- (4) 世界の男女の全体数は男性が多い。
- (5) 世界の男女の全体数はほぼ同じである。
- (6) 男性より女性の平均寿命が長いため、高齢になると女性が男性より多くなる。

設問 4 下線④を英語にきなさい。（5 点）

設問 5 **Figure12** の B および E の年齢層を下記のア～オより選びなさい。（2×5 点＝10 点）

ア. 0～4 歳 イ. 5～14 歳 ウ. 15～24 歳 エ. 25～64 歳 オ. 65 歳以上

Ⅲ 下記の表 1 は国立社会保障・人口問題研究所日本の将来人口推計（令和 5 年推計）による年齢 3 区分（0～14 歳, 15～64 歳, 65 歳以上）別総人口及び年齢構造係数：出生中位（死亡中位）推計結果を改変した表である。設問に答えなさい。

表 1. 年齢 3 区分（0～14 歳, 15～64 歳, 65 歳以上）別総人口及び年齢構造係数：出生中位（死亡中位）推計

年次	人口（1000 人）				割合（％）
	総数	0～14 歳	15～64 歳	65 歳以上	65 歳以上
1990 年	（ア）	22,544	86,140	14,928	（イ）
1995 年	125,570	20,033	87,260	18,277	14.6
2000 年	126,926	18,505	86,758	22,041	17.4
2005 年	127,768	17,521	84,092	25,672	20.2
2010 年	128,057	16,803	81,032	29,246	23.0
2015 年	127,095	15,887	76,289	33,465	26.6
2020 年	126,146	15,032	75,088	36,027	28.6
2025 年	123,262	13,633	73,101	36,529	29.6
2030 年	120,116	12,397	70,757	36,962	30.8
2035 年	116,639	11,691	67,216	37,732	32.3
2040 年	112,837	11,419	62,133	39,285	34.8
2045 年	108,801	11,027	58,323	39,451	36.3
2050 年	104,686	10,406	55,402	38,878	37.1
2055 年	100,508	9,659	53,070	37,779	37.6
2060 年	96,148	8,930	50,781	36,437	37.9

各年 10 月 1 日現在の総人口（日本における外国人を含む）。

出典：国立社会保障・人口問題研究所日本の将来推計人口（令和 5 年推計）一部改変

https://www.ipss.go.jp/pp-zenkoku/j/zenkoku2023/pp_zenkoku2023.asp

設問 1 表の（ア）（イ）の数字を埋めなさい。但し、（イ）は小数点第 1 位まで求めなさい。
（2×5 点＝10 点）

設問 2 1990 年と 2000 年の 0 歳～14 歳の割合（％）を小数点第 1 位まで求めなさい。
（2×5 点＝10 点）

設問 3 表 1 より 0 歳～14 歳と 65 歳以上の割合（％）を比較して、正しいものを選びなさい。
（10 点）

- （1） 0 歳～14 歳と 65 歳以上の割合は一貫して増加をしている。
- （2） 1990 年では 0 歳～14 歳の割合が 65 歳以上の割合と比較して低い。
- （3） 2000 年では 0 歳～14 歳の割合が 65 歳以上の割合と比較して高い。
- （4） 1990 年から 2000 年の間に 0 歳～14 歳と 65 歳以上の割合は逆転している。

Ⅳ 次の文章は認知症になった認知症専門医の著書からの抜粋である。文章を読んで設問に答えなさい。

認知症の人だって、みんな違ってみんな尊い。このことを忘れないで接してください。認知症になってからも、人は連続した人格を保っています。その人格は、誰一人として同じではありません。世界中を見渡しても、私という人間と同じ生活歴で、同じ考えを持っている人は私以外いません。

だからこそ、人間は誰もが尊厳を持った大切な存在です。認知症になって、その人らしさが失われたように見えても、あるがままのその人が尊いことに違いはありません。認知症の人と接する際、何よりも心に留めておいてほしいのは、認知症の人も自分と同じ「一人の人間」であり、この世にただ一人しかいない唯一無二の尊い存在だということです。

出典：認知症でも心は豊かに生きている 長谷川和夫 中央法規 2020.

設問 1 認知症の人について、著者が主張する内容で正しいものを選びなさい。(5 点)

- (1) 人格は保持される
- (2) その人らしさが失われる
- (3) 症状はみんな同じである
- (4) 同じ考え方になる

設問 2 著者は認知症の人へどのような接し方をしてほしいと思っていますか。30 字以内で記述しなさい。(5 点)

Ⅴ 上記Ⅱ～Ⅳを踏まえて、認知症になった人への対応について具体例を示して、あなたの考えを 350～400 字以内で記述しなさい。(40 点)

令和 7 年度

名桜大学
人間健康学部 健康情報学科

学校推薦型選抜
外国人留学生特別選抜

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので取り違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏及び余白を下書きに使用してよい。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

次の文章を読んで、設問 1、設問 2 に答えなさい。

ディープラーニングによる第 3 次人工知能ブーム ―2005 年以降

2005 年、2045 年にも圧倒的な人口知能が知識・知能の点で人間を超越し、科学技術の進歩を担い世界を変革する技術的特異点（シンギュラリティ）が訪れるとする説を、レイ・カーツワイルが著作で発表しました。

ディープラーニング、ビッグデータなどのキーワードで、伝えられるような人類の脳（左脳）の学習と記憶を持てるようになった 2017 年現在、深層学習の実用化成功により、人工知能の文字を新聞で見かけない日がないほどの人工知能ブームが再来し、企業も人工知能という言葉積極的に使っております。デミス・ハサビスは「人工知能の歴史は誤ったはしごに登っては下りるの繰り返しだった。『正しいはしご』にたどり着いたのは、大きい」と、人工知能の冬が再び訪れない可能性に言及しています。

今では、人工知能研究分野での成果は社会実装され、われわれの生きる世界のさまざまな課題を解決すべく、各分野で活用され始めています。

ICT、IoT、人工知能は、今や一瞬にして全世界の情報を収集・発信、加工できる機能を身に付け、人間社会に役立ちつつあります。

しかし、人間が有する「感性的な対話や場の空気を読んだインタラクション能力」などについては、まだ到達しているとはいえません。

「人工知能」と「人間の本来知能」の違いと特徴

生命（人類、動物、植物など）が生き続けてこられた能力とは、「進化」「イノベーション」能力です。環境に適応して進化する、また、先導的には、人類に代表される「環境と生物の共存の仕組みを創ろうとするイノベーション」能力です。

人類は、自分たちの生きやすい環境を創るために、第 1 次産業革命～第 4 次産業革命（農業、工業、情報、IoT・ICT）を興してきました。その結果が現代の環境と経済・産業・社会システムであり、環境と生物の共存との観点からは、かなりの課題を抱えています。

また、IoT・ICT の開発と並行して、人類の脳の機能（新皮質・左脳「学ぶ、計算・分析・解析、記憶」）の一部を代替できる人工知能を開発しました。その活用（社会実装）がこれから本格的になります。

人類は、何を期待して人工知能を開発したのでしょうか。最初は「人間の単純作業・重労働の軽減」「人間の休息なしの労働軽減」。次第にその機能は複雑・高度化し、「人間に代わる大量、複雑データの迅速な計算・分析・解析」「大量データ・情報の流通・伝達・ストック・再利用」「言語・画像・音・触覚による理解と相互インタラクション（コミュニケーション）」などなど、今では相当の領域について代替できることが期待され、そして実用化が始まっています。分野別人工知能活用時代です。

これからは、さらに高度な頭脳労働・感性領域にも人工知能が活用される時代となるでしょう。そのはしりが、人工知能はどこまで考えられるか（推論できるか）「囲碁」「将棋」の世界でのトライです。すでにここまで進化してきました。

一方、人類が持つ機能で、人工知能が当面は及ばない機能（能力）は、何でしょうか。それは、何百万年もかけた生き抜く力としての人類の脳の発達―認知（左脳）と感性（右脳）およびその統合領域―による高度な「自己の認識を基にし、感性と直感で物事を把握する力、相手と共感を持つ能力、相互にインタラクションできる能力」「個人の飛躍的発想とイノベーションを生み出す力」「協働で新たなイノベーションを興し創り上げる力」などです。

(a) 人間に寄り添う人工知能の開発と活用

この本で伝えたかったことは、「人工知能は、あくまで人類が創る人工物」であることです。われわれの世界はどこまで進化するか、人間はどこまで幸せになれるか、といった事柄は、人工知能の開発と応用・活用がどのように進むかにかかっているといっても過言ではありません。

超高齢社会の未来の地球で、年齢を問わず、若者～熟年～高齢者はどのように幸せに力強く生きられるでしょうか。

現代という時代は、全員参加型社会（1人1人が、自分の生き方を自分で選択しようと思えばできる社会）、モノ⇒コト⇒心の時代です。一方、個人や人間社会の最適化だけでは、全体正解とはなりません。地球環境を守り、人類・生物全体が生きられる環境との調和を保つことも最重要になります。これらの社会システムは個別でありながら全体調和を創出することが求められており、こうした分野にも人工知能は有効に活用されるでしょう。

現在の第三次人工知能ブームもお祭り騒ぎ状態は沈静化し、いよいよ具体的な社会実装や利益を生み出すための動きが本格化しようとしています。これからは、人工知能が社会にしっかり浸透できるかどうかが問われていくことになります。

世間一般では、人工知能の争点は「高度化した人工知能による職の置き換え問題」が最も大きな課題として扱われがちですが、「2025年問題（注1）」に象徴されるように、日本を筆頭とする先進国においては今後、少子高齢化が加速し、労働力の人工知能による早期補填への要求がより切迫した問題となると予想されます。労働力不足が懸念されるのは農林水産業といった第一次産業のみならず、製造業・建設業等の第二次産業、商業・金融業・運輸通信業・サービス業等第三次産業に至るまで、あらゆる分野で、人工知能が労働力として投入される必要性・頻度が高くなることが想定されます。ここで人工知能に対して課題となるのは『『事務的なやり取り』のみではない、(b) より感性的な対話や場の空気を读んだインタラクション能力』が出せるかどうかです。なぜならば、これからの人工知能には単に労働力の補填としての位置付けのみならず、人間と接し「共存」することで力を発揮することが求められるからです。

（中略）

（注1）団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者となり、日本国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という、人類が経験したことのない「超・超高齢化社会」を迎えるという予想です。

出典：

AIX（人工知能先端研究センター）著、『人工知能と社会 2025年の未来予想』、オーム社、2018年、より抜粋し、一部を改変

設問 1

下線部(a)「人間に寄り添う人工知能」とは、どのようなものか。本文に即して、100 字以上 200 字以内で説明しなさい。

設問 2

下線部(b)「より感性的な対話や場の空気を読んだインタラクション能力」を持つ人工知能とは、具体的には、どのような人工知能が考えられるか（現在、実現されていない人工知能でもよい）、あなたの考えを 500 字以内で述べなさい。

令和 7 年度

名桜大学 国際学部
国際文化学科・国際観光産業学科

社会人特別選抜

事前提出型小論文

出題日時：令和 6 年 11 月 19 日（火）午前 10 時 30 分

注意事項

1. 解答用紙にインターネット出願整理番号及び氏名を必ず記入すること。
2. 事前提出型小論文の問題の指示に従って解答すること。
3. 指定された解答用紙を印刷し、手書き（鉛筆書き）で解答すること。
4. 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
5. 解答に際し、参考にした本やホームページ等がある場合は、「参考文献・資料等」を記入し、提出すること（無い場合はその旨を記入して提出すること）。複数枚になる場合は、適宜コピーして作成すること。
6. 事前提出型小論文の答案は、郵便局（ゆうゆう窓口含む）において、令和 6 年 11 月 20 日(水)の午前中までの消印で、簡易書留・速達で提出（送付）すること。提出日を過ぎた答案は受理しない。

【設問】 以下の文章を読み、人種や外見に基づく「レイシャルプロファイリング」と人種差別の問題について、あなたの考えを述べなさい。

答案を作成する際には、次の4点を守ること。

- 1.複数の段落で文章を構成すること。
- 2.題目、見出しは書かないこと。
- 3.700字以上800字以内で書くこと。
- 4.一般的な原稿用紙の使い方に則って、横書きで書くこと。

人種や肌の色、国籍などを理由に警察官から繰り返し職務質問を受けてきたとして、外国出身の3人が「差別にあたり憲法違反だ」と主張して、国などに賠償を求める訴えを近く東京地方裁判所に起こすことがわかりました。人種や国籍などに基づく職務質問は海外で問題になっていて、国内でもそうした行為の違法性について争われるとみられます。

代理人の弁護士によりますと、訴えを起こすのは東京や愛知県などに住む外国出身の男性3人で、いずれも外見などを理由に繰り返し警察の職務質問を受け、苦痛を感じてきたとしています。

中には20年以上、繰り返し職務質問を受けるうちに自宅にこもりがちになったと訴える原告もいます。

3人は「人種に基づいた差別的な取り扱いで憲法違反だ」として、国と東京都、愛知県に1人あたり300万円の賠償などを求める訴えを、近く、東京地方裁判所に起こすということです。

人種や肌の色、国籍などを理由に相手を選ぶ職務質問や取り調べは「レイシャルプロファイリング」と呼ばれ、国連の人種差別撤廃委員会が防止のためのガイドライン策定などを勧告するなど、国際的な問題となっています。

原告側の代理人を務める谷口太規弁護士は「国内ではレイシャルプロファイリングと呼ばれる職務質問の違法性について争われた裁判例はなく、初めてとみられる。裁判をきっかけに、警察の運用が国際社会に合わせた基準になっているか考えてもらいたい」と話しています。

おとし、警察庁は人種などを元にした職務質問で不適切な言動が前年の2021年、全国で6件あったとする調査結果を発表し、指導を徹底するとしています。

インドにルーツを持ち、原告の1人となるマシューさん(53)は日本人の妻との結婚を機に来日し、20年以上日本で暮らしています。

この20年以上の間、マシューさんは駅や路上などで警察官に止められるなど、繰り返し職務質問を受け、多いときは1日に2回受けたこともあるといいます。

自宅の前で4、5人の警察官に取り囲まれたことや、職務質問に応じなかった時には警察

署に連れて行かれて事情聴取を受けたこともありました。

3 年前の 10 月には東京都内で職場に向かうために妻を乗せて車を運転していたとき、サイレンを鳴らしたパトカーに止められました。

マシューさんが「なぜ止めたのか。スピードが出ていたのか」などと聞くと、警察官は「外国人がこのあたりを運転するのは珍しいからだ」と答えたということです。

このときのことについてマシューさんは「正当な理由だとは思えず、警察が自分たちの力を好きなように利用しているように思った。立場を乱用した人種差別だ」と話していました。

職務質問を繰り返し受けたことで、マシューさんは一時期、外出することが怖くなり、自宅にこもりがちになったといいます。

マシューさんは「いつも警察官が自分を監視していて、プライバシーを侵害しているような気がしていた。あまりに頻繁に続くので『なんで私だけ』という気持ちにもなった」と話していました。

今回、裁判の原告になろうと決めた理由については「同じ問題で苦しんでいる多くの人がいると思う。裁判をきっかけに、私たち全員が平和な生活を送ることができるような解決策が見つかってほしい」と話していました。

「レイシャルプロファイリング」をめぐるっては、国連の人種差別撤廃委員会が 2020 年、各国に防止のためのガイドライン策定などを勧告しました。

こうした中、東京弁護士会はおとし、日本で暮らす外国人や外国籍の親を持つ日本人などにインターネットでのアンケート調査を行い、およそ 2100 人から回答がありました。

それによりますと、過去 5 年間で職務質問を受けた人は 62.9%にあたる 1318 人でした。職務質問を受けた人のうち、2 回から 5 回程度受けた人が 50.4%、6 回から 9 回程度が 10.8%、10 回以上が 11.5%でした。

声をかけてきた警察官が最初から自分が外国にルーツを持つ人だとわかっていたと思うか聞くと、職務質問を受けた人の 85.4%がそう思うと回答しました。回答者の 90%以上はその理由として「身体的特徴」を挙げました。

このほか、「日本語以外で話していた」ことや「日本語以外の雑誌や本などを持っていた」と答えた人もいました。

自由記述には「外国人だとわかったとたん、警察官の態度が急変し、タメ口で職務質問が行われた」とか、「大勢の人々の前で犯人のように調査された」「見た目だけで薬物を持っているのではと疑われた」など、差別的だと訴えるさまざまな声が寄せられました。

出典：『NHK NEWS WEB』「“人種や国籍を理由に職務質問” 国などに賠償求め提訴へ」（2024 年 1 月 24 日掲載）

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240124/k10014331901000.html>（参照日 2024 年 8 月 27 日）

令和 7 年度

名桜大学 国際学部
国際文化学科・国際観光産業学科

外国人留学生特別選抜

事前提出型小論文

出題日時：令和 6 年 11 月 19 日（火）午前 10 時 30 分

注意事項

1. 解答用紙にインターネット出願整理番号及び氏名を必ず記入すること。
2. 事前提出型小論文の問題の指示に従って解答すること。
3. 指定された解答用紙を印刷し、手書き（鉛筆書き）で解答すること。
4. 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
5. 解答に際し、参考にした本やホームページ等がある場合は、「参考文献・資料等」を記入し、提出すること（無い場合はその旨を記入して提出すること）。複数枚になる場合は、適宜コピーして作成すること。
6. 事前提出型小論文の答案は、郵便局（ゆうゆう窓口含む）において、令和 6 年 11 月 20 日(水)の午前中までの消印で、簡易書留・速達で提出（送付）すること。提出日を過ぎた答案は受理しない。

【設問】以下の文章を読み、現代社会の進歩について、あなたの知識、経験を踏まえ、自身の考えを述べなさい。

答案を作成する際には次の指示に従うこと。

- 複数の段落で文章を構成すること。
- 題目、見出しは書かないこと。
- 700 文字以上 800 文字以内で書くこと。
- 一般的な原稿用紙の使い方に則って、横書き書くこと。

ポーランド出身の研究者から、日本はとても便利で素晴らしい国ですね、とのお褒めの言葉をいただいたことがあります。私が褒められたわけではないのですが、日本で生まれ育った者として自国が褒められるのは、なんとも嬉しいものです。来日する前、その研究者は、日本で暮らすために日本語を覚えねばならぬと思っていたのですが、「来日して10年になるが、日本語を覚えなくて済んでいる」そうです。

グローバル化の賜物で、世界が均質化され、ほとんどの日本人は英語がしゃべれるから、というわけでもなさそうです。

まず住居。いったん賃貸契約すると、毎月の住居費は口座振替かカードから落とされてゆきます。便利ですし日本語を話す必要はありません。

次に買い物。無言でスーパーに入り、欲しいものをカゴに入れてレジまで持ってゆき、無言で支払いをして出てゆくだけで済みます。便利ですし、日本語を話す必要はありません。それどころか、レジでお店の人とお話などをしていると、行列の後ろのほうから「早くしろ視線」が飛んできてつらい思いをします。

一生懸命に日本語を覚えても、スーパーで値切り交渉などできません(関西では、一部の家電量販店で値切り交渉OKなどありますが)。

近い将来、毎日の食料品でさえスーパーに出向いて買う必要はなく、ネットで通販の時代が来るでしょう。そうすると、ますます日本語を話すことなく暮らせる、便利な国になりそうです。

ところが、逆に、片言の日本語以上にスキルアップしたいとのモチベーションが湧かない、これは案外つまらないものだ、せっかく日本に住んでいるのに、とも言っていました。仕事の選択肢のうちのひとつとして選んだのがたまたま日本だけであって、何も日本である必要はない、日本で住んでいること自体を楽しみたいのに、「その必要はない」と「便利」が彼に言っているのです。

そして問わず語りに、ポーランドで民主化が成功する前夜(1980年代)の不便だった思い出を、友人に語り出しました。食料配給にまず早起きのお婆ちゃんが並び、次に学校に行く前の自分が交代し、学校に行く時間頃にお母さんが交代しに来るのが、毎日の日課だったそうです。今の日本ではあり得ない光景です。効率化最優先の社会では、忌避すべき状況です。ただ、ポーランドの友人は、この状況を嬉しそうに語るのです。家族の結束は、この時が一番強かったと。この時は、お婆ちゃんも僕もお母さんも、誰一人として家族から欠けてはならない存在だと、みんなが思っていたんだと言っていました。

出典：川上浩司『不便益のススメー新しいデザインを求めてー』（岩波書店、2019）
pp.43-45。なお、出題に際して、表記を改めた。

令和 7 年度

名桜大学 国際学部
国際文化学科・国際観光産業学科

一般選抜(前期日程)

小 論 文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入すること。
4. 解答は、解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
5. 解答欄は、解答用紙の表と裏にあるので注意すること。
6. 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
7. 試験終了後、解答用紙のみ回収する。問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

【設問】 我々が直面する社会の様々な問題の解決には、どのようなアプローチが適しているでしょうか。以下の文章を読み、あなたの考えを述べなさい。

答案を作成する際には次の指示に従うこと。

- 複数の段落で文章を構成すること。
- 題目、見出しは書かないこと。
- 700 字以上 800 字以内で書くこと。
- 一般的な原稿用紙の使い方に則って、横書きで書くこと。

今、私たちは、日々さまざまな問題に直面しています。問題が高度化・複雑化する一方であり、一筋縄では解決できない問題に悪戦苦闘を繰り返しています。

多くの問題はひとりでは太刀打ちできず、さまざまな知恵や経験を持った方々の手を借り、衆知を集めることで解決を図ろうとします。特に、多くの要因が複雑に絡み合う問題となると、関係する人々が力を合わせないと解決策が見出せません。

ところが、集団(組織)で問題解決をするというのは、口で言うほど簡単ではありません。典型的なのが会議です。「アイデアが出ない」「話がかみ合わない」「意見がまとまらない」という声があちこちで聞かれています。組織全体を見ても、「プロジェクトが進まない」「風通しが悪い」「人材が育たない」「イノベーションが生まれない」といった話が山のようにあります。ましてや、大企業病が蔓延する硬直化した組織を変えようとすると、至難の業です。

こんなとき、多くの方は「人」に着目します。組織とは人の集まりだからです。リーダーやメンバーの能力や意識を変えれば(あるいは優秀な人に替えれば)、問題が解決できると考えます。目まぐるしく変化する環境に個人の能力が追いついておらず、そのために組織が機能不全に陥っていると思うのです。

この考え方は間違いではありません。でも、それだけで本当にうまくいくのでしょうか。

戦略思考、ロジカルシンキング、創造性開発、コミュニケーション、意思決定力といった、ビジネスパーソンが持つスキルは格段にレベルアップし、もはや当たり前のものになりました。コーチングをはじめ、個人の能力ややる気を引き出す技法もかなり普及しました。それでも先ほどのような問題は、増えることはあっても減る傾向にありません。組織の失敗を個人に帰するのではなく、もっと違ったアプローチはできないのでしょうか。

(中略)

このような話は、ビジネス界に限らず社会のあちこちでも見受けられます。

身近なところでいえば、コミュニティの問題があります。地方分権の時代を迎え、市民自らが参加する「市民協働のまちづくり」が日常的に進められるようになりました。市民が自発的に集まり、自分たちの問題を自分たちで話し合って解決をしていくのです。

ところが、実際にこれをやるとなると、並大抵の話ではありません。同じ地域に住むとはいえ、年齢や職業も違えば、生活文化や価値観も違います。互いの考え方の枠組みがぶつかり合うばかりで簡単には前に進みません。下手をすると深刻な対立に発展して、地域の分断につながりかねません。市民の知恵とエネルギーをつむいでいくノウハウが十分に育って

いないのです。

ましてや、エネルギーや安全保障といった日本全体に関わる問題となると、合意形成は困難を極めます。手前勝手な情報をもとに、声高に意見を主張するだけでは埒があきません。多様な議論を通じてコンセンサスが築けないと、せっかくの民主主義システムが機能しません。

もうひとつ身近な例として、学校教育の問題を取り上げましょう。近代的な学校制度が始まって以来、均質な集団に対して画一的な授業をおこない、一方的に知識を与えるのが学校教育の姿でした。しかしながら、社会環境が大きく変化する今、生徒の学習意欲と個性を喚起し、目まぐるしく変化する社会のなかで、自律的に生きていく力を育てていかなければなりません。さらには、多様な人たちと協働しながら、一緒に問題解決ができる地球市民を育成していかなければ、学校教育の使命が果たせません。

そのためには、教育に対する考え方や授業での教え方そのものを変革しないと、期待する効果が得られません。学習という共通の目標に向けて協働するためのプロセス改革が必要となります。(後略)

堀公俊 (2004)『ファシリテーション入門』東京：日本経済新聞出版社

令和 7(2025)年度

名桜大学 国際学部

国際文化学科・国際観光産業学科

一般選抜(前期日程)

英 語

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入すること。
4. 解答欄は、解答用紙の表と裏にあるので注意すること。
5. 試験終了後、解答用紙のみ回収する。問題冊子は持ち帰ること。

第1問

以下の **Reading A** を読み、問 1 から問 10 までの質問で最も適当な答えをそれぞれ下の A) ~D)の中から 1つ選びなさい。文章の前の番号は段落を示しています。また、*を付した語には注を付してあります。(配点 50)

Reading A

(1)

(2)

(3)

(4)

この問題は、著作権の関係上、掲載ができません。

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

(11)

(12)

(13)

(14)

この問題は、著作権の関係上、掲載できません。

(15)

(16)

(17)

(18)

(19)

*athletics: 運動

*fellowship: 友情、親睦

*comes in handy: 役に立つ

*entrepreneur: 起業家

*execute: 実行する

*cite: (例として)あげる

*wrestling: レスリング

*interact: やり取りをする

*quell: 抑える、和らげる

*proactive: 積極的な

*bolster: 高める

(出典 : Neighmond, P. (2015, Jul. 1). Benefits of sports to a child's mind and heart all part of the game. *NPR*.
<https://www.npr.org/sections/health-shots/2015/07/01/418899249/benefits-of-sports-to-a-childs-mind-and-heart-all-part-of-the-game>. 出題のため一部改編)

Comprehension Questions

問 1. According to Amy Roegler in paragraph (2), what is the main reason that she values her children's participation in sports?

- A) They can get a lot of exercise, which is important for young children's health.
- B) They can learn how important it is to win a game.
- C) They can learn to make an effort despite the game's outcome.
- D) They can learn to play sports that their parents can't teach them.

問 2. According to paragraph (4), what did the survey reveal?

- A) Seventy-six percent of adults think that sports are good for kids.
- B) Seventy-six percent of high school and middle school parents think participation in sports is more important than school.
- C) Seventy-six percent of all adults recommend that their kids play sports.
- D) Seventy-six percent of high school and middle school parents recommend that their kids play sports.

問 3. What is the best choice for the missing word ① in paragraph (4)?

- A) find a solution
- B) make a difference
- C) recover your health
- D) trust your instincts

問 4. In paragraph (8), what does Octavio Herrera mean by the underlined phrase "Nerves in your stomach, right? Butterflies."

- A) that he preferred to watch butterflies during baseball games
- B) that he was nervous pitching in a baseball game
- C) that playing baseball made him sick
- D) that sports make children too nervous

問 5. In paragraph (9), what is the meaning of the underlined phrase, “the stakes are really low”?

- A) The final score of the game was low.
- B) The outcome of the game is not so important.
- C) The players have very poor skills.
- D) The winning and losing teams will both receive prizes.

問 6. In paragraphs (12) and (13), why does Octavio Herrera compare his company to a baseball team?

- A) Both his company and a baseball team sometimes lose and sometimes win.
- B) He thinks that good baseball players will become good company employees.
- C) He thinks that hard work is important for both jobs and team participation.
- D) He thinks that teamwork is important for both sports and company work.

問 7. According to paragraph (15), what was the focus of the research by Andy Driska?

- A) how a wrestling camp affected the perspectives of teenagers
- B) how beneficial wrestling is for the physical health of teenagers
- C) the impact of a camp on the students’ performance during the wrestling season
- D) the value of wrestling for students’ performance in school

問 8. Which of the following describes the results of Driska’s research from paragraph (16)?

- A) Both the teenagers’ confidence and hope increased.
- B) Neither the teenagers’ hope nor their confidence increased.
- C) The teenagers’ confidence decreased, but their hopefulness increased.
- D) The teenagers’ hope decreased, but their confidence increased.

問 9. According to paragraphs (17) and (18), how was one teenage boy affected by the wrestling camp?

- A) He became more proactive about his schoolwork.
- B) He stopped complaining about losing his wrestling matches.
- C) He was able to calmly discuss his differences with his mother.
- D) He was able to win his arguments with his mother.

問 10. What is the best choice for the missing word ㉔ in paragraph (19)?

- A) considered
- B) cooperated
- C) determined
- D) maintained

第2問

以下の **Reading B** を読み、問 1 から問 10 までの質問で最も適切な答えをそれぞれ下の A)～D) の中から 1 つ選びなさい。文章の前の番号は段落を示しています。また、*を付した語には注を付してあります。(配点 50)

Reading B

- (1) U.S. Government officials say there are about one hundred fifty thousand Koreans in the suburbs surrounding Washington, D.C. Koreans began moving to Annandale, Virginia, about twenty years ago. Since then, Korean students have had a strong influence on the schools there.
- (2) Korean immigrants* say that most Koreans come to the United States for education. They are looking for a good public school system to prepare their children for college and professional work. They believe their children have a better chance to be educated in American schools.
- (3) Koreans in the United States have their own system to help Korean students. The adults organize private schools that provide extra study help. Koreans call these schools “hak-won” schools. They provide help for students all year. The “hak-won” schools also prepare Korean students for national knowledge and ability tests.
- (4) Joanne Cabry was a guidance counselor* for students at Langley High School. She helped students prepare for college. She says sometimes Korean parents have plans for their children that are not possible. She says the parents’ plans can cause a lot of tension between Korean parents and children.
- (5) For example, Korean parents may have a strong desire for their child to attend one of America’s best but very costly private universities. But the student’s plans may conflict with his or her parents’ desires. The young person knows that private universities accept only a very few students. He or she would rather attend a public university that accepts more students and is not as costly. Peter Uncles is also a guidance counselor at Langley High School in Annandale. He agrees that there can be tension in some Korean families caused by cultural differences. He says Korean parents restrict their children more than many other parents do.
- (6) At school, young Koreans and Korean Americans can be heard talking in what they jokingly* call “Konglish.” They combine both Korean and English words in one sentence. Young people say it is easy to live in the suburb of Annandale. They say they can speak some Korean and some English and still be understood.
- (7) Many Korean families in Annandale belong to financial groups. The Korean word for these groups is “gaeh.” Families can pay for the education of their children this way. The

“gaeh” financial groups have from five to fifteen members. The groups meet every month. Each member pays the same amount at the monthly meeting. One member gets to use all the money. The system continues until every member has had a turn to use all the money. Some Korean families use the money to buy a home or to start a business.

- (8) The “gaeh” group also gives the members a way to believe in each other’s honesty and fairness. They build relationships with other newcomers* to the United States. Some Korean families who earn high incomes join a “gaeh” more for social reasons than for financial reasons.
- (9) Language skill is a problem for the older Koreans. Not speaking English can prevent them from taking part in American culture. Many older Koreans worked two or three jobs when they came to the United States. They could not take time to go to school. When they had enough money they opened their own businesses. They hung business signs in Korean, the only language they knew. Other ethnic* groups complained. English-speaking people could not understand the Korean business signs. They wanted the signs to include information in English.
- (10) Most Korean businesses have learned to reach out to all the people in the area. The signs in many Korean stores now are in two languages, Korean and English. Some stores also hang signs in Spanish. Yet some people feel that Korean businesses are not making the effort to reach out to all Americans.
- (11) Soni Kim is a Korean woman who arrived in Annandale in 1971. Ms. Kim is critical of some Korean businesses. She wants them to work together to involve Koreans in American culture in Annandale. She says that the language difference should not stop the Korean businesses from trying to interest Americans in their goods*. She says if you have an open heart, you can communicate.
- (12) Ms. Kim publishes a Korean-language newspaper. She asked the owner of a weekly English-language newspaper if he would include stories written in Korean. Douglas Schauss agreed to include her Korean stories in his newspaper, the *Annandale News Independent*. Now there are always two pages of Korean language news and stories in his newspaper.
- (13) Visitors to Annandale can find evidence of new Korean-American traditions. People of other ethnic groups enjoy eating in the more than twenty Korean restaurants in the area. They have learned to like the interesting smells and tastes of Korean food.

*immigrants: 移民

*guidance counselor: 進路指導教員

*jokingly: 冗談で

*newcomers: 新しく来た人

*ethnic: 民族

*goods: 商品

(出典 : Voice of America Special English. (2000, Oct. 18). Korean communities in the United States. *Many Things*. <https://www.manythings.org/voa/0/10175.html>. 出題のため一部改編)

Reading Comprehension Questions

問 1. According to paragraph (2), why do many Korean immigrants choose to come to the United States?

- A) to attend public universities
- B) to find better educational opportunities for their children
- C) to have a strong influence on the schools there
- D) to live in the suburbs surrounding Washington, D.C.

問 2. According to paragraph (3), what are “hak-won” schools, and what purpose do they serve for Korean students?

- A) after-school organizations that help Korean families pay for education
- B) government-funded schools that assist students with learning English
- C) private schools that provide extra study help and preparation for exams
- D) public schools that offer classes in both Korean and English

問 3. According to paragraph (5), why do Korean students tend to prefer public universities instead of private universities?

- A) Public universities are costly, and they let fewer students attend.
- B) Public universities are costly, but they let more students attend.
- C) Public universities cost less money, and they let more students attend.
- D) Public universities cost less money, but they let fewer students attend.

問 4. According to paragraph (5), what problems do Korean-American parents and children have when making decisions about education?

- A) It is difficult for parents to talk about educational issues with their children because they cannot speak English well.
- B) Parents make their children to attend “hak-won” schools to prepare for college.
- C) Parents want to decide which kind of university their children should attend.
- D) The cost of education is high, and parents force their children to join “gaeh” groups to pay for school.

- 問 5. According to paragraph (6), what is “Konglish”?
- A) It is a mix of Korean and English words used in conversations.
 - B) It is a standardized version of Korean taught in language schools.
 - C) It is a term used to describe the younger generation of Korean Americans.
 - D) It is an ethnic group that lives in the Korean-American community.
- 問 6. According to paragraphs (7) and (8), what are the “gaeh” groups within the Korean community?
- A) groups that are based on giving assistance to newcomers to the United States
 - B) groups that are created to share educational advice with parents
 - C) groups that are established to loan money to local Korean families in need
 - D) groups that are organized on trust and financial support of its members
- 問 7. According to paragraph (9), what is the main reason older Koreans in Annandale have trouble adjusting to American culture?
- A) They are busy working two or three jobs.
 - B) They are not interested in American culture.
 - C) They do not speak English well.
 - D) They have no time to go to community events.
- 問 8. According to paragraph (9), why did some people in Annandale complain about the signs at Korean businesses?
- A) They wanted the signs to be written in English and Spanish.
 - B) They wanted the signs to be written in Korean and English.
 - C) They wanted the signs to be written in languages for all ethnic groups.
 - D) They wanted the signs to be written only in English.
- 問 9. According to paragraph (10), how have Korean businesses in Annandale changed to serve both the Korean and wider community over the years?
- A) by advertising more in Korean-language newspapers
 - B) by creating signs and menus in Konglish
 - C) by serving more American food at Korean restaurants
 - D) by using signs written in both Korean and English

問 10. According to paragraph (12), how are Soni Kim and Douglas Schauss supporting the diverse communities in Annandale?

- A) They are encouraging people from other ethnic groups to open new businesses.
- B) They are including Korean-language stories in the local English newspaper.
- C) They are increasing the number of Korean restaurants in the area.
- D) They are offering both Korean and English language classes to people in the community.

第3問

下の Reading C の文章は、ある国の状況を述べています。問 1 から問 3 の質問に日本語で答えなさい。*を記した語には注を記してあります。(配点 50)

Reading C

- (1) In Japan, the decline in the number of births has not stopped. If this trend continues, the population that is the social and economic driving force of the nation will decrease and the continuation of the social security system could be in danger. To overcome the national crisis, it is essential for society as a whole to address* the issue.
- (2) The Health, Labor and Welfare Ministry has released Japan's vital statistics* for 2023. The number of Japanese newborns was 727,277, and the total fertility rate—the number of children a woman is estimated to give birth to in her lifetime—was 1.20. Both figures decreased for the eighth consecutive* year and marked record lows.
- (3) Each year until 2015, the number of births exceeded* 1 million. In the eight years since then, the number has decreased by nearly 30%.
- (4) The decline in the number of marriages is also extremely serious. Last year, for the first time in the postwar* period, the number of couples marrying fell below 500,000, down to about 470,000.
- (5) Deciding whether to get married is a matter of personal choice. But if there are people who want to marry but have given up for economic reasons, this is a problem. ① Many young people are non-regular workers, for whom it may be difficult to earn a sufficient income.
- (6) The government should more strongly encourage private companies to make young people full-time employees and raise their wages, and should support the improvement of their working conditions. It is hoped that the government will also make additional efforts, such as by providing quality housing.
- (7) Meanwhile, the Diet* approved a revised law on support for children and child-rearing* that includes measures to address the declining birth rate. The Cabinet of former Prime Minister Fumio Kishida has described the measures as being of a “different dimension.”
- (8) Regarding financial support for households raising children, the revised law will remove income limits for the child allowance*, and also will extend the duration* of the allowance from the current “through junior high school age” to “through high school age.” The allowance will be increased to ¥30,000 per month for third and subsequent* children, despite the child's age. The aim is to reduce the financial burden on households with children.

- (9) However, solely enhancing* financial support will not be enough to overcome the decline in the birth rate.
- (10) In recent years, the trend toward later marriages and later childbearing* has been accelerating*, and more than a few families are unable to have a second or third child even if they want to.
- (11) ② In addition to young people who cannot have children for financial reasons, the number of those who say they do not want to have children at all seems to be increasing.
- (12) Although there may be various circumstances behind this, those who do not want to have children may receive pension benefits or nursing care services when they reach old age. Then they may feel the importance of a system of intergenerational* support.
- (13) There are many challenges posed* by a declining population. It is important for the government to make efforts to educate the public so that more people will share ③ the same awareness of the issue. There is a need to ascertain* the circumstances and backgrounds of young people who are hesitant* to get married or have children, and to take comprehensive measures*.

*address: 対処する

*vital statistics: 人口統計

*consecutive: 連続する

*exceed: 超える、上回る

*postwar: 戦後

*the Diet: 国会

*revise: 修正する

*child-rearing: 育児

*allowance: 手当

*duration: 継続期間

*subsequent: 次の

*enhance: 高める

*childbearing: 出産

*accelerating: 加速している

*intergenerational: 二世代以上の間に起こる（渡る）

*pose: 引き起こす

*ascertain: 確かめる

*hesitant: ためらいがちな

*comprehensive measures: 包括的な施策

(出典 : Record-low birth rate: Falling number of marriages a serious issue. (2024, June 8). *The Japan News*.

<https://japannews.yomiuri.co.jp/editorial/yomiuri-editorial/20240608-190824/>. 出題のため一部改編)

問 1 下線部①を和訳しなさい。(15 点)

問 2 下線部②を和訳しなさい。(15 点)

問 3 下線部③について、the same awareness of the issue とは何か説明しなさい。(20 点)

第4問

次の英文を読んで、自分の考えやその理由を下記の指示 [Essay Instructions] に従って 150 語程度の英語で書きなさい。(配点 50)

It is common to hear stories of teachers banning smartphones from class. For example, some teachers worry that students who use smartphones during class will not be able to pay attention. Some studies have found that students who use smartphones in class often receive lower test grades. However, other studies have shown that using smartphones does not actually lower students' intelligence.

Though most students are not allowed to use smartphones in high school, university professors often have more flexible rules about using phones during class, and some professors even encourage students to use their phones in certain situations.

出典:

Lapierre, N. (2024, Feb.). Should Cellphone Use Be Regulated in Classrooms? *The Journal*.

<https://www.thesmujournal.ca/opinion/should-cellphone-use-be-regulated-in-classrooms>.

US Schools Wrestle with Cellphones in Classrooms. (2024, Feb.). *Voice of America*.

<https://www.voanews.com/a/us-schools-wrestle-with-cellphones-in-classrooms/7507321.html>.

Essay Instructions:

Are there ways that teachers and students can use smartphones effectively in the classroom? Using your own experiences, discuss some effective ways that smartphones could be used to improve or increase student learning.

[END OF EXAM]

令和 7 年度

名桜大学

人間健康学部 看護学科

一般選抜・前期日程

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので取り違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏及び余白を下書きに使用してよい。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

次の文章を読み、設問に答えなさい。

この問題は、著作権の関係上、掲載できません。

この問題は、著作権の関係上、掲載できません。

出典：デビッド・ロモ著、水澤都加佐監訳：災害と心のケア－ハンドブック（株）アスク・ヒューマン・ケア（1995年）より抜粋し、一部を改変

設問 1. 下線部①の読み仮名をつけなさい。下線部②を漢字に直しなさい。 2点×2=4点

設問 2. 心理的回復プロセスの各期の説明として語群より適切な番号を2つ選び、表を完成させなさい。（2点×8 16点）

心理的回復プロセス	語群の番号	
英雄期		
ハネムーン期		
幻滅期		
再建期		

語群

- ①危険をかえりみず勇気ある行動
- ②被災地に「日常」が戻り始める
- ③被災者の忍耐が限界に達する
- ④被災者同士の強い連帯感
- ⑤精神的支えを失った人には、ストレスの多い生活
- ⑥精神・感情のマヒ
- ⑦地域の連帯感が失われる
- ⑧被災地全体の暖かいムード

設問 3. 災害時の被災者への支援について、あなたの考えを750～800字で述べなさい。
(80点)

令和 7 年度

名桜大学

人間健康学部 健康情報学科

一般選抜・前期日程（A 方式）

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので取り違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏及び余白を下書きに使用してよい。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

以下の文章を読んで、続く問題に答えなさい。

DXの本質 (A)

そもそも DX と呼ばれる「デジタルなトランスフォーメーション (変革)」とは何か、イメージさえ曖昧模糊としていないだろうか。変革の目的はどうやら効率向上にあるようだが、具体的に何をすべきか分かりにくい。もともとデジタル化というのは、単なるコンピュータ計算処理の導入というより、組織のさまざまな事務的・技術的な処理を ICT^{※注1}によって効率化することだ。それなら官庁だけでなく、銀行だろうが商社だろうがメーカーだろうが、どこでも半世紀くらい前から行われてきた。いったいどこが新しいのか。

DX という概念は、2004 年にスウェーデン (今は米国在住) のコンピュータ工学者・経営学者であるエリック・ストルターマンによって提唱された。もともとは、企業のデジタル処理を抜本的に改革してビジネスの効率を上げようという意図だったが、いつの間にか、「DX が社会全体を改善する」という大言壮語になってしまった。この飛躍には、少々首をかしげたくなる。利益獲得を追求する企業と違い、社会というのは多様な目的をもつ人々や組織からなる共同体である。官庁も病院も学校も、効率的な利益獲得をめざしているわけではない。にもかかわらず、「社会全体が改善される」とはどういうことか。ICT 業界の宣伝文句なのか。

疑問をとく鍵は、DX が提唱された時期と関わっている。2000 年代半ばというのは、いわゆる「ウェブ 2.0」により、インターネットが世界中の一般の人々にとって、情報を受信するだけでなく発信もできる身近なメディアになった時期だった。インターネットは、半世紀ほど前に米国国防総省の ARPA (Advanced Research Projects Agency) ネットとして発足したが、そののち理系研究者の情報交換ネットとして活用され、さらに 1990 年代に一般ビジネス用に公開された。ワールドワイド・ウェブ (WWW) の誕生である。ウェブページ作成は当初面倒で、官庁や企業が主な情報発信元だったが、ブログなどで一般の人々が手軽に発信できるようになったのがウェブ 2.0 である。

こうして、2000 年代からインターネット内のデータ量は急激に増大していった。この膨大なデータを迅速に検索する機能を提供した企業が米国のグーグル社であり、一般の人々の手軽なオンライン商品購入を可能にしたのがアマゾン社、人々の相互の情報交換を促したのがフェイスブック (現メタ) 社、そしてスマホやパソコンをはじめ人々に使いやすい端末機能を提供したのがアップル社やマイクロソフト社だったというわけだ。「ビッグテック」と呼ばれる米国企業 GAFAM (グーグル、アマゾン、フェイスブック、アップル、マイクロソフト) による世界制覇である。

要するに、インターネットは 21 世紀初め、世界中の一般大衆にオープン化されたのだ。企業だけでなく、官庁も、学校も、病院も、それぞれの活動がこのオープンなネット・インフラによって大きく変革されることになる。なぜなら、以前のクローズドな ICT システムと異なり、組織の担当者や技術者ばかりか、一般の人々がコンピュータのユーザーとなるからだ。これが DX の本質と言ってよい。ところが、日本はその波をとらえ損ね、変革に立ち遅れてデジタル後進国になってしまった。話を具体的にするために、ここで DX のキーワードをあげてみよう。第一は「オープンソース」、第二は「オープンデータ」、第三は「クラウドサービス」である。

まずオープンソースだが、これはコンピュータ処理のソースプログラム、つまり人間の解読できるプログラムを公開することだ。コストとエネルギーをかけて開発したプログラムを無償で一般公開するのは、公共機関の研究者ならともかく、企業にとっては不利だと思われるかもしれない。だが、相互利用により斬新な新機能を実現できたり、利用者が協力してプログラムの品質を高めていける、といった長所もある。メインフレーム主体でクローズド処理が行われていた 1970～80 年代頃まで、OS はじめ大半のビジネス用ソフトは非公開だったが、学術機関では UNIX というオープンソースの OS が登場しつつあった。今のインターネットのサーバで多用される Linux という OS は、UNIX を受け継いで発展してきたのである。

次にオープンデータだが、これも「(プロバイダ料金をのぞき) 誰でも無料で使える共用のインフラ」というインターネットの理念と合致しているのだ。もっとも分かりやすいのは、学術活動における論文公開だろう。かつて学術的な研究成果は、学会の査読という認証プロセスをへた後ようやく論文として公開された。これは質の保証という長所をもつ半面、公開までに時間がかかるし、査読者の権威主義でゆがみが生じる恐れもあった。そこで、成果が得られたらすぐインターネットで公開してしまい、閲覧者に当否を判断してもらおうというのがオープンデータの発想である。さらに民主主義国家なら、行政データは原則として公開し、国民が共有すべきだという主張もあるだろう。

だが、いま DX 推進派がもっとも強調しているのは、クラウドサービスではないだろうか。「クラウド(cloud)」とは文字通り「雲」のことで、いささか曖昧模湖とした感じもするが、要するにデジタル処理をサービス会社に外注することだ。クラウドと逆に、独自のデジタルシステムを構築し処理するやり方を「オンプレミス(on-premise)」という。プレミスとは、「前提(前もって置く)」というのが原義で、オンプレミスとは「自前」のことである。かつて官庁や銀行などの大組織は、それぞれオンプレミスのメインフレーム・システムを、ほとんど固定した大手 ICT 企業(日立、NEC、富士通、日本 IBM など)に発注し、受注した企業が開発から保守まで請け負うのが通例だった。当然、クローズド処理であり、直接の

ユーザーは各組織の ICT 担当者だが、データ処理自体の責任は ICT 企業が全面的にもつ。

オープンネットの弱点

(B)

オープンなネット・インフラを活用した DX には、コスト削減による効率化にかぎらず、さまざまな長所がある。オープンソースとオープンデータを組み合わせることで、多様なイノベーション(技術革新)がうまれるだろう。米国で、地域ごとの咳止め薬のネット検索回数とインフルエンザの患者数とのあいだの高い相関データから、グーグルの研究チームがインフルエンザ発生地域を予測した例は有名だ。日本でも、台風襲来時に中小河川の水位を時々刻々、きめ細かく川沿いの町村の住民に通報するといった行政アプリを開発すれば、たぶん感謝されるだろう。また気温の詳細な変化から、公園の桜の開花時期を予測して観光客のスマホに送るアプリを売り出せば、人気がでるかもしれない。「データは宝」なのである。

(C)

しかし、ここでオープンネットには特有の弱点があることを忘れてはならない。万人に対して開かれたオープンなインフラが知や財をうみ、社会を改善するという発想は性善説にもとづいている。グーグル社の創立者は米国スタンフォード大学の卒業生だが、米国西海岸のカリフォルニアには性善説にもとづくコンピュータ文化があることは確かだ。筆者がスタンフォード大学に滞在してから 40 年以上過ぎたが、あの楽観的で前向きな進歩主義の雰囲気は忘れがたい。情報共有を是とする性善説そのものは尊重したいのだが、他方、思いがけない罠にはまる恐れもある。

いったい万人が無料でアクセスできるオープンなインターネット(ワールドワイド・ウェブ)とは、「安全・安心な信頼できるインフラ」なのか。

新聞や公共放送とは違って、そこにはフェイク(誤)情報にたいし責任をとる主体は存在しない。フェイク情報が広まり、ひどい誹謗中傷をうけても、誰も救ってはくれない。ツイッターやインスタグラムなど、情報交換をたすけるプラットフォーム企業は、データの正確な送受信は保証してくれても、原則として内容には立ち入らないはずだ。

一般人のなかには、刺激的なフェイク情報を匿名で発信し、面白がる人物もたくさんいる。社会に恨みをもつ犯罪者や、児童を狙う変質者、詐欺や違法取引で生計をたてる者などもある。国境をこえるテロ団体のメンバーも混ざっているかもしれない。私有財産や医療履歴をはじめ個人の情報を厳重に保護しないと、とんでもない事態になる。現状ですでに一般人の誰しも、クレジットカード番号を盗もうとするフィッシング詐欺などといった、怪しげなメッセージに日夜悩まされている。西部劇さながら、自分の身は自分の拳銃で守らねばならない荒野に放り出されたようなものだ。

とくに行政関連のデータの中には、個人だけでなく国家のレベルで秘匿すべきものも少なくない。サイバー犯罪プロ集団からの攻撃もあるからだ。年金記録や特許文書もその例である。オンプレミス処理なら自分のコンピュータ・メモリだけきちんと管理すればひとまず安全だが、クラウド処理だとそうはいかない。データはサービス会社のサーバのメモリに蓄積されるが、それがどこのハードのメモリか、どんなプログラムで処理されるのかは、ユーザーにはわからない。サービス会社を信用する他はないのだ。むしろ、グーグルやアマゾンなど大手のクラウドサービスならば、データの秘密は暗号などで十分に守られるはずだ。だが、国境をまたがる多数のハードで実行されるサービス処理もあるだろう。海外テロリストの組織的攻撃や、自然災害などが突然起きても機能停止しないのか。想定外の障害が発生してデータが流出したり消滅したりした場合、外国のクラウドサービス企業は責任をとってくれるのだろうか。

加えて、すでに述べたコンピュータ処理の特殊性と、オープン性の関係も懸念される。ICT 業界では、コンピュータ・システムは昔から「手離れが悪い製品」だと言われてきた。いったん製品が完成しユーザーのもとに納品されても、使用しているうちに予想外の小さなミスが続出することはむしろ普通である。これは、大規模ソフトウェアは普通の工業製品とは違って、完璧なテストが不可能だからだ。大規模ソフトウェアの内部には天文学的な数の論理手順がふくまれている。通常の動作環境ならいつもの手順で処理するから問題ないが、負荷が急に増大するなど動作環境が変動すると、例外的な手順が次々に実行されて潜在していたミスが露呈することが少なくない。

以上の特殊性は、ICT 企業で大きなプログラムを開発した経験のあるエンジニアなら誰でも知っていることだ。障害発生、処理中断となると、担当者は現場に駆けつけ、ミスが修正されて正常処理に戻るまで、死に物狂いの徹夜作業が続くことになる。だからこそ、デジタル・システムの保守作業は大変な知的労働なのである。

ただし、かつて大規模なメインフレーム・システムの性能や信頼性を専門的に研究した筆者の体験から一言いっておこう。オンプレミスのクローズドなシステムであれば、設計段階で動作環境の大枠を見定められるので、負荷変動をある程度予測し、振れ幅をかなりの程度狭めることが可能だ。というより、予測計算をもとに性能と信頼性の高いシステムを設計し構築することこそ、エンジニアの仕事だったのである。

一方、オープンなクラウド処理だとそうはいかない。クラウドサービスで用いられるプログラムは、オープンソースを組み合わせで開発されたものもあるだろう。また、査読を経ない論文など未確認のオープンデータにもとづく処理かもしれない。とすれば、想像をこえた

大規模ミスがいつ発生するか、はたして対処可能なミスかどうか、誰にもわからなくなりがちだ。

オープン性の長所を信奉する性善説の論客は、以上のような議論は心配し過ぎだと一笑に付すだろう。多少ぎくしゃくしても、長い目で見れば、オープンソース、オープンデータ、クラウドという特徴をもつ DX がグローバルなデジタル化を進め、社会を良くすると主張するに違いない。しかし、もし問題が生じて、無名の一般ユーザーが心身に取り返しのつかない傷を負ったり、多大な損害を被ったりして運命を狂わせたら、いったいその責任は誰がとるのか。多少の犠牲がでても全体の効率化を進めるのが「進歩」だ、という乱暴な議論には賛同できない。

オープン化を旗印とする DX が一般の人々を修羅場に誘いこむ危険があるとすれば、少なくともその危険を広く周知すべきだと筆者は考える。安全・安心が保障されないネットワーク・インフラのうえで生活し、学び、ビジネスをおこなうことの異常性に気づくべきではないだろうか。

※注1 ICT：Information and Communication Technology の略。情報(information)や通信(communication)に関する技術の総称。

出典：西垣通著、『超デジタル世界－DX、メタバースのゆくえ』、岩波書店、2023 年より抜粋し、一部を改変

- 問1 下線部 (A)「DX の本質」とは何か、筆者の主張を 100 字以内で説明しなさい。
- 問2 “DX の特徴”を示す語句を 3 つ抜き出し、それらの語句に対応する説明文についてもそれぞれ 15～20 字以内で抜き出しなさい。
- 問3 下線部 (B)「オープンなネット・インフラを活用した DX」の長所と短所について、筆者の主張を 600 字以内で具体的に説明しなさい。
- 問4 下線部 (C)『「データは宝」なのである。』について、あなたならオープンなネット・インフラを活用してどのようなサービスを提供するでしょうか。「使用するデータ」、「提供するサービス」、「サービスの提供先」の 3 点について明記し、「そのサービスを思いついた理由」または「そのサービスが必要と考える理由」にも触れて、あなたの考えを 200 字以内で述べなさい。ただし、「使用するデータ」は架空のデータでもよく、「提供するサービス」は実現可能でなくともよい。

令和 7 年度

名桜大学 国際学部
国際文化学科・国際観光産業学科

一般選抜(後期日程)

小 論 文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入すること。
4. 解答は、解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
5. 解答欄は、解答用紙の表と裏にあるので注意すること。
6. 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
7. 試験終了後、解答用紙のみ回収する。問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

【設問】 以下の文章を読み、現代の「個を尊重する社会」についてあなたの考えを述べなさい。

答案を作成するには次の指示に従うこと。

- 複数の段落で文章を構成すること。
- 題目、見出しは書かないこと。
- 700 字以上 800 字以内で書くこと。
- 一般的な原稿用紙の使い方に則って、横書きで書くこと。

(前略) 今の社会は「個を尊重する社会」と言えるでしょうか。私たちが、拘束力が強く閉鎖的な集団を脱し、「一人」になることを求めた理由の奥底には、「集団ではなく個を尊重したい」という願望がありました。

たしかに、かつての社会より、多様な主義や信念は尊重されるようになりました。性的指向については、多様性に配慮する方向で変化が進んでいます。10 年前であれば、性的マイノリティを表す「LGBTQ」などといっても何のことか分からない人も多かったでしょう。

1980 年代であれば、結婚をしない人生を貫き通すことはけっこう大変だったかもしれません。結婚しない人に「一人前ではない」と厳しい言葉が投げかけられたり、昇進で差別されたりすることもありました。そう考えると、私たちは「個を尊重する社会」に生きているように感じます。

しかし、何でも自由に言えるようになったかという点、そうでもない気がします。たとえば、友人であっても気を遣って、なかなか深い話ができない、ということはないでしょうか。会社で管理職に就いている人であれば、「今は何でもハラスメントにされてしまうから、部下とどう接したらいいかわからない」という人もいるでしょう。

「個を尊重する社会」というのは、一人ひとりがそれぞれに独立した意見を持ち、それを率直にぶつけられる社会という意味合いもありました。誰もが、気を遣いつつも、率直に意見をぶつけ合うことで、よりよい社会を築いていく。そういった対話のある社会が目指されてきたのです。

果たしてそういった社会は実現できたのでしょうか。世の中を見渡してみると、実際に到来したのは、目の前の他者に対して意見や批判をすることを^{はばか}り、それぞれが自分の殻に閉じこもる社会、あるいは、検索をつうじて、互いに意見の合致している人のみが結びつき、意見の合わない人は寄せ付けない分断型の社会ではないかと思うこともあります。そこからは、個を尊重する姿勢を読み取ることはできません。

出典：石田光規『「人それぞれ」がさみしいー「やさしく・冷たい」人間関係を考えるー』（筑摩書房、2022） pp.27-29

なお、出題に際して、表記を改めた部分がある。

小論文「出題の意図」、総合問題「模範解答」、英語「模範解答」

小論文、総合問題および英語における論述問題の解答については、一義的なものではないため、出題の意図や採点方針を公表します（学科によっては論述問題においても模範解答としています）。

1. 総合型選抜

◇国際学部 国際文化学科・国際観光産業学科 小論文「出題の意図」

名桜大学の建学の精神である「平和・自由・進歩」およびアドミッション・ポリシーの「1. 豊かな個性と強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢を持っていること」にあるように、本学を志望する受験生には、本学で学ぶ目的＝「良い問い」と主体的に取り組む姿勢＝「考えよう」が求められている。本設問は、上述の2点について受験生の姿勢と考えを問うている。

◇人間健康学部 スポーツ健康学科 小論文「出題の意図」

小論文における知識・技能、スポーツに関する知識・思考力が評価の対象になる。

◇人間健康学部 健康情報学科 小論文「出題の意図」

与えられた資料に対する質問を通して、読解力、理解度、自らの考えを論理的に記述できる力があるかを問う。

2. 学校推薦型選抜

◇国際学部 国際文化学科・国際観光産業学科 小論文「出題の意図」

生成 AI の出現により、膨大な知識が瞬時に手に入るようになった。過去に明らかにされたことを単に知りたいだけであれば大学進学は不要のように思われる。生成 AI と共生する時代における大学での学びのあり方について考えて欲しい。

◇人間健康学部 スポーツ健康学科 小論文「出題の意図」

小論文における知識・技能、スポーツに関する知識・思考力が評価の対象になる。

◇人間健康学部 看護学科 総合問題「模範解答」

I. 次の文章について設問に答えなさい。

設問 1 下線の a～e を漢字に直しなさい。(5×5 点＝25 点)

a:機能低下 b:記憶 c:器官 d:萎縮 e:障害

設問 2 文中の①～⑦に入る語句を下記の語群より選びなさい。(7×5 点＝35 点)

①エ ②シ ③ク ④ア ⑤カ ⑥ケ ⑦ウ

II 次の文章および図は World Population Prospects 2019 Highlights の一部を抜粋し部分的に日本語に訳したものである。文章および Figure12 を読んで設問に答えなさい。

設問 1. 下線①の文章を日本語にしなさい。(20 点)

2018 年、人類史上初めて全世界の 65 歳以上の人が 5 歳未満の子どもの数を上回った。

設問 2. 下線②を日本語にきなさい。(5 点)

15 億

設問 3 下線③の内容について正しいものを 2 つ選びなさい。(2×10 点=20 点)

(5). 世界の男女の全体数はほぼ同じである。

(6). 男性より女性の平均寿命が長いと、高齢になると女性が男性より多くなる。

設問 4 下線④を英語にきなさい。(5 点)

level

設問 5 Figure12 の B および E の年齢層を下記の A～オより選びなさい。

(2×5 点=10 点)

B=オ E=ア

Ⅲ 下記の表 1 は国立社会保障・人口問題研究所日本の将来人口推計(令和 5 年推計)による年齢 3 区分(0～14 歳, 15～64 歳, 65 歳以上)別総人口及び年齢構造係数:出生中位(死亡中位)推計結果を改変した表である。設問に答えなさい。

設問 1 表の(ア)(イ)の数字を埋めなさい。但し、(イ)は小数点第 1 位まで求めなさい。(2×5 点=10 点)

ア=123.612 イ=12.1

設問 2 1990 年と 2000 年の 0 歳～14 歳の割合(%)を小数点第 1 位まで求めなさい。

(2×5 点=10 点)

1990=18.2

2000=11.9

設問 3 表 1 より 0 歳～14 歳と 65 歳以上の割合(%)を比較して、正しいものを選びなさい。(10 点)

(4). 1990 年から 2000 年の間に 0 歳～14 歳と 65 歳以上の割合は逆転している。

Ⅳ 次の文章は認知症になった認知症専門医の著書からの抜粋である。文章を読んで設問に答えなさい。

設問 1 認知症の人について、著者が主張する内容で正しいものを選びなさい。(5 点)

(1). 人格は保持される

設問 2 著者は認知症の人へどのような接し方をしてほしいと思っていますか。30 字以内で記述きなさい。(5 点)

※以下の解答例のいずれかを解答していれば正解とした。

- ・ 尊厳を持った接し方
- ・ 自分と同じ一人の人間としての接し方
- ・ 認知症を持つ人としての接し方

V 上記Ⅱ～Ⅳを踏まえて、認知症になった人への対応について具体例を示して、あなたの考えを 350～400 字以内で記述しなさい。(40 点)

[模範解答]

世界的に人口の高齢化が進行しており、今後も高齢者の割合は増加することが予測されている。特に日本は世界でも少子高齢化が進んでいる国の一つであり、高齢化の進行に伴い、認知症高齢者も増加している。認知症とはアルツハイマー病や脳血管障害など、脳の機能低下によって記憶力や判断力などの認知機能が低下する症状であり、加齢に伴い増加する。日本では認知症に対する普及啓発や予防、認知症になっても安心して地域で生活できるような社会作りに取り組んでいる。しかし、認知症の人に対する社会の偏見や差別があるのが現状である。私の祖母も時々「認知症になったらもうおしまい。周りに迷惑をかけたくない」と、話をして認知症になることを恐れている。私は誰でも認知症になる可能性はあると思うので、もし、祖母が認知症になっても大好きな祖母のことを大切な存在として、これまで同様に接し、できるだけ祖母を支えていきたいと考える。

(391 文字)

◇人間健康学部 健康情報学科 小論文「出題の意図」

人工知能に関する 2,500 字程度の課題文を読み、課題の理解力、思考力、論理的な表現力を問う。

3. 特別選抜

(1) 国際学部 国際文化学科/国際観光産業学科

◇社会人特別選抜 帰国生徒特別選抜 事前提出型小論文「出題の意図」

技能実習生受け入れや海外観光客の受け入れ促進などの取り組みが活性化している一方で、日本国内の人種差別問題についての議論は未だ不十分である。特に「レイシャルプロファイリング」に基づく警察の職務質問などは当事者以外にはその差別性や高圧さが認識されにくい。日本が真に国際化するためにどのような取り組みや態度が必要なのか、学生には多様な観点から考察できるようになってもらいたい。

◇外国人留学生特別選抜 事前提出型小論文「出題の意図」

名桜大学は、平和を愛し、自由を尊重し、人類の進歩と福祉に貢献する国際的教養人と専門家の育成を建学の精神とする。

本学の建学の精神のなかにある「人類の進歩」とは何だろうか。進歩すること/便利になることで見えなくなる/無くなるものもあるかもしれない。本題を通して進歩の意味やその多様な側面を記述できるかを問いたい。

(2) 人間健康学部 看護学科 社会人特別選抜 総合問題「模範解答」

社会人特別選抜の総合問題は、学校推薦型選抜の総合問題と同じである。
73～75 ページの人間健康学部 看護学科 総合問題「模範解答」を確認すること。

(4) 人間健康学部 健康情報学科 外国人留学生特別選抜 小論文「模範解答」

外国人留学生特別選抜の小論文は、学校推薦型選抜の小論文と同じである。
75 ページの人間健康学部 健康情報学科 小論文「出題の意図」を確認すること。

4. 一般選抜・前期日程

◇国際学部 国際文化学科/国際観光産業学科 小論文「出題の意図」

我々は様々な社会問題に直面しており、今後も新たな問題が続くだろう。このような問題の解決方策は個人の力ではどうにもならない。様々なバックグラウンドを持つ人々との協働について考えて欲しい。

◇国際学部 国際文化学科/国際観光産業学科 英語「模範解答」

第1問

以下の Reading A を読み、問1から問10までの質問で最も適当な答えをそれぞれ下の A)～D)の中から1つ選びなさい。文章の前の番号は段落を示しています。また、*を付した語には注を付してあります。(配点 50)

問 1. C	問 2. D	問 3. B	問 4. B	問 5. B
問 6. D	問 7. A	問 8. A	問 9. C	問 10. D

第2問

以下の Reading B を読み、問1から問10までの質問で最も適当な答えをそれぞれ下の A)～D)の中から1つ選びなさい。文章の前の番号は段落を示しています。また、*を付した語には注を付してあります。(配点 50)

問 1. B	問 2. C	問 3. C	問 4. C	問 5. A
問 6. D	問 7. C	問 8. B	問 9. D	問 10. B

第3問

下の Reading C の文章は、ある国の状況を述べています。問1から問3の質問に日本語で答えなさい。*を記した語には注を記してあります。(配点 50)

問 1 下線部①を和訳しなさい。(15 点)

若者の多くは非正規労働者である。非正規労働者にとって、十分な生計を得ることは困難であろう。

問 2 下線部②を和訳しなさい。(15 点)

金銭的理由で子供をもつことができない若者に加えて、全く子供を持つことを望まないと言う人々の数が増えつつあるように見える。

問 3 下線部③について、the same awareness of the issue とは何か説明しなさい。(20 点)

出生率の低下が続けば、日本社会・経済の稼働力となる人口は減少し、年金の給付と介護サービスなどの恩恵を受けるのが難しくなるというように、社会保障制度の存続が危機に陥りかねない。世代間の支援による社会保障制度存続の必要性を政府が国民に啓蒙すべきである。

第4問 次の英文を読んで、自分の考えやその理由を下記の指示 [Essay Instructions] に従って 150 語程度の英語で書きなさい。(配点 50)

[模範解答]

In my opinion, teachers and students should work together to use smartphones in the classroom. For example, I often use my phone to find information about my favorite idol group. Sometimes I use SNS, and sometimes I use Google. In class, we could use SNS and Google on our phones to find information about a topic that we are studying. Teachers could help us by introducing useful websites.

In addition, most people use their phones to contact their friends. But they also can use their phones to contact people far away from them. For example, I often use Line to talk to my cousin in Canada. I think that we could use our phones in English class to contact people in other countries. This would make language learning much more fun!

In conclusion, though smartphones can absolutely be bad for education, teachers and students should work together to use them for research and for English classes.

◇人間健康学部看護学科 小論文「模範解答」

次の文章を読み、設問に答えなさい。

設問 1. 下線部①の読み仮名をつけなさい。下線部②を漢字に直しなさい。2 点×2=4 点
①しっくい ②罹災証明

設問 2. 心理的回復プロセスの各期の説明として語群より適切な番号を 2 つ選び、表を完成させなさい。(2 点×8 16 点)

英雄期：① ⑥ ハネムーン期：④ ⑧ 幻滅期：③ ⑦ 再建期：② ⑤

設問 3. 災害時の被災者への支援について、あなたの考えを 750～800 字で述べなさい。
(80 点)

【出題の意図】

近年、自然災害が多発し、南海トラフ大地震発生の可能性が高まっていることの報道がされている。社会情勢に関心を持ち、その出来事に対する自らの考えを具体的、論理的に記述できるかを問う。

◇人間健康学部 健康情報学科 小論文「出題の意図」

DX (デジタルトランスフォーメーション) に関する 5,000 字程度の課題文を読み、課題の理解力・分析力を問う。健康情報学科入学後の学習に必要な興味を前提に、思考力・論理的な表現力を問う。

5. 一般選抜・後期日程

◇国際学部 国際文化学科・観光産業学科 小論文「出題の意図」

「現代社会の課題」をテーマとする出題方針に対し、現代において重視される「個を尊重する社会」を多様な視点から理解できているかを問う。

名桜大学 入学試験問題集

＜令和 7(2025)年度＞

令和 7 年 7 月 15 日 印刷発行

編集・発行：名桜大学 教務部 入試・広報課
〒905-8585 沖縄県名護市字為又 1220 番地の 1
TEL：0980-51-1056

※本冊子の無断複写・複製・転載を禁じます。

